

建築と社會

The Architectural Association of Japan

6

新建築紹介

磐山株式会社本社.....	1
岡崎旅館.....	3
平和大橋勾欄.....	4

記事欄

廣島の平和大橋勾欄と慰靈碑の 設計不採用問題について.....	吉田三郎... 5
廣島平和記念陳列館を施工して.....	橋本定... 10
ヒロシマ散歩.....	柴田齊男... 11
松江の観光と菅田庵.....	飯塚源吉... 12
廣島城及福山城石垣と落書石紋様.....	橋本秀夫... 15
建築材料としての有機硝子「アクリライト」.....	鈴木廣好... 19
建築積算便覧(第17回補1).....	川村統之... 21
新たに學窓を出られた建築家に贈る.....	渡部圭吾... 24
各會記録(昭和26年度).....	27
會務.....	31
建築價格表.....	34

1952 Vol. 33

日本建築協會

HITACHI

近代ビルに好評の



日立エレベータ

各種 エレベータ
電動階段
ダムウエータ



日立製エレベータは勿論舊日本エレベータ製造株式会社製のもの 舊 A. B. See 会社製のものの保守や修理も御引受け致します。

設計資料其他御入用の節は最寄の営業所へ御照会下さい。

東京 大阪 名古屋 福岡 仙台 札幌

日立製作所



事実が示す期界の名声赫々たる
ゴム質優秀、光沢美麗、色彩多量
耐久力絶大、足触快適、施工誠実

桜ゴム床材

責任施工

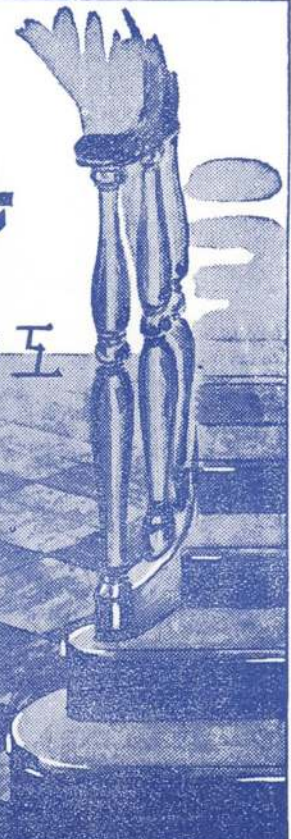
ゴムマット 1M×12尺
ゴムタイル 1尺角・5寸角
階段マット 185CM×28CM
ゴム製ノンズリップ

大阪市東区備後町三ノ四

櫻物産株式会社大阪支店

電話 北浜 代表 6945
6946~6949

本社 東京・営業所 福岡・札幌



会 告

記念事業夏の見学会開催

去る5月23、24両日の東海方面見学は30余名の参加で到る所で歓待を受け盛会裡に終了、参加者一同裨益するところ多かつた。今回夏季催しとして各種見学と納涼をかねた2泊旅行を催します。満員とならぬ内に下記要項御覧の上御申込み下さい。

◎見学の個所 岐阜提灯製作状況、名和昆虫研究所、鵜飼実況、白川大家族家屋等

◎見学日時 7月11(金) 12(土) 13(日) の3日間
(晴雨不論)

◎集合の時と所 7月11日正午 国鉄岐阜駅待合室集合

◎見学行程 7月11日(金) 12時30 岐阜県庁の梅川寮着—14.00出発
この間中食(簡単なもの準備)、入浴少憩(遅参の方は道順を県庁に問合せて梅川町の梅川寮に来られたし)

14.30 尾関商店工場参観、15.30発

16.00 名和昆虫研究所見学、名和秀雄技師の「住居庭園と害虫」の話をきいて18.00出発 18.30頃遊覧船乗り込み夜宴、鵜飼観覧 22.00頃梅川寮帰着宿泊

7月12日(土) 6.30岐阜駅発、美濃太田乗換 北濃着12.16 借切バスで直ちに出发、大日村等を経て 15.00頃御母衣着、代表的民家遠山家見学 16.00頃同所発、鳩谷着 17.00頃、大家族家屋の集落見学(白川村風俗、家屋についての解説者は交渉中)鳩谷の白川館に宿泊、旅舎で白川民謡と踊りを観る。

7月13日(日) 6.40鳩谷発 北濃着10.10
ここで解散

参 考 (往復の時間表)

(往路) 一國鉄利用の方—

※ 8時00大阪発急行・岐阜着 11.38
(8.40 // // → // 11.51

—電車利用の方—

7.40近鉄上本町発特急→名古屋着10.35

7.00 // 急行→ // 10.30

名古屋鉄道岐阜線に乗換(同一構内) 10.50名鉄名古屋発特急→新岐阜着11.25(国鉄岐阜駅まで徒歩約2分)

(帰路) 一國鉄利用の方—

※10.26 北濃発、美濃太田乗換、岐阜着 14.55

※15.04 岐阜発急行→大阪着18.10

又は 15.11 // 各停→ // 19.21

—電車利用の方—

10.26 北濃発、美濃太田乗換、鵜沼着

14.26 名古屋鉄道線乗換(同一構内)

名古屋着15.25

16.00 近鉄発特急→上本町着 18.55

又は16.05 // 急行→ // 19.39

◎会 費 2,600円 借切バス料、宴会費、宿泊料(一定量のアルコール料共)、女中、船頭等祝儀、見学先謝礼等を含む(但し北濃までの往復運賃は各自御負担下さい)(3等往復約1,000円余)

◎申込締切 6月25日迄に会費と共に申込の事、但借切バス、旅舎、遊覧船等に限度がありまうので期日前でも定数に達した場合は締切りますから御諒承下さい。

◎念のために

○岐阜では宿泊料節減のため、白川郷では僻地のため旅舎の設備その他の不行届の点はお許し下さい。

○往路は越美南線北濃迄の切符で岐阜にて途中下車される方が利便です。

○協会本部は※印の列車で移動します。これと同一行動をとられる方が30人以上となれば運賃1割引となりますので、一括して切符買入れを希望される方は申込書にその旨お書き添え下さい。

○北濃鳩谷間は、道路は可成りよいがそれでも片道3時間半の行程です。車に余り弱い方は御遠慮されたいでしょう。

◎見学場所の概要

(イ) 岐阜提灯製作工場——可憐な女性のやわ肌をおもわせるような岐阜提灯——それはどうして作られるだろうか？ 斯界では最大な規模だといわれている尾関商店の工場を参観する。

(ロ) 名和昆虫研究所——世界的に名を知られているこの博物館を見学しつつ、名和秀雄技師から「住居や庭園と害虫」をテーマとする話をきく。特に本会のために一般には公開されない記念館が開扉されることになっている。

(ハ) 鵜飼——余りにも有名である。7月はその最盛期、鮎の一番美味な月でもある。長良川の水上に浮べた船に夜宴を賑つて納涼と懇親を深め流し来る紋

歌尺八、打ち上げられる盛んな花火に興を移すことしばし、やがて漁り下る鵜飼船に従って急流をこぎ下りつゝ鵜の鮎をとる様を眼前に見てスリルと興趣を満喫する。

(ニ) 借切バスで観光——国鉄終点北濃駅から鳩谷までバス3時間半を往復共借切バス。長良川と庄川との最上流の絶佳な風景を觀賞して、随所希望の箇所に車を停める。

(ホ) 大日村の開拓部落——前項両川の分水嶺が大日岳の開拓部落大日村である。寒冷とやせ地にいどんで收穫せんとする人々の尊い努力に敬意を表したい

(ヘ) 白川村の大家族家屋——環境から必然的に起きた大家族制、そして三階ないし四階建合掌造りの大家族屋は、民俗学上にも建築の構造や意匠の上にも多大のヒントが得られるだろう。最も僻地であつたが

ために保たれたこの風俗と家屋の構えも、最近開かれた交通の便と新しい文化思想のためにくずれて行きつゝあるので、今こそこの眼にその最後の美しい姿を留めておくべきであろう。

(ト) 白川村の民謡と踊り——僻地のこゝでは民謡と踊りこそ唯一の娯楽である。それにはこの土地の祖先の幾十代もの命が積み重ねられて来ている。まことにむべなるかな、去年東京で開かれた全国民謡コンクールで優勝しているし、文化映画にも撮られている。本見学会の最後をこの民謡と踊りによつてなごやかに終る予定である。都会のいぶきのかならない純粋な民謡とはやし、そしてその踊りも今の間こそ最後のきゝもの見ものとなるではないか。多勢の御参加を願う次第である。(竹内委員記)

記念事業委員会見学部長・松本儀八

新時代の小住宅設計図案当選発表

予て創立35年記念事業の一つとして懸賞募集中の標記図案は64点の応募を得て5月29日慎重審査の結果下記の通り当選者を決定いたしました。尙当選図案と其の概評は7月号建築と社会で発表の予定であります。

◇ 当 選

1 等 (1名)

埼玉県浦和市高砂町5の9

小林 盛 太 氏

(三座建築事務所東京事務所)

2 等 (2名)

西宮市鳴尾町花園64

岩 本 博 行 氏

(竹中工務店設計部)

大阪市旭区森小路町6の70

池 亀 暢 雄 氏

(大林組設計部)

佳 作 (5名)

大阪市東住吉区山阪町5の18

今 西 茂 雄 氏

(今西建築デザインルーム)

大阪府寝屋川市字香里1322大林組寮

舟 橋 巖 氏

(大林組設計部)

神戸市兵庫区川中町(兵庫工高校内)

遠 藤 喬 氏

(兵庫工高建築科教諭)

大阪市北区中ノ島(朝日ビル八階)

村 尾 栄 氏

(竹中工務店設計部)

神戸市灘区高羽橋丘101

仲 忠 博 氏

(野村建設工業KK)

昭和27年5月28日

社 団 法 人 日 本 建 築 協 会

竹腰会長渡欧

竹腰会長は今般 M. R. A. の招請でアメリカ及び歐洲に旅立ちされることになり五月雨降りしきる5月27日多量の見送りを受けられ大阪駅発「はと」で上京された(5月29日羽田空港発アメリカに向はれ7月中旬帰朝の予定)

日本建築協会京都支部事務所移転

京都支部は従来木屋町水道会館にあつたが、今般都合により下記へ移転しました。

◎移転先 京都市中京区押小路通柳馬場東入橋町 645
番地京都建設会館内(電上、4199、4551、4552)

社 団 法 人 日 本 建 築 協 会

会 告

新 建 築「ク ラ ブ 関 西」見 学 会

新しい感覚に依て造られた坂倉建築学研究所の作品クラブ関西を下記に依り見学する事にした。
奮つて御参加下さい。

1. 建築概要 延坪318.24坪鋼筋コンクリート造り二階建シャーレー板平梁構造クラブ建築
2. 見学日時 6月21日(土) 午後1時40分集合2時より3時迄見学(時間協行)
3. 集合場所 市電堂島中町電停より東南半丁米軍刑務所横クラブ関西前
4. 申込締切 6月19日迄会費30円と共に申込下さい。予定人員あり次第先着順で切る。

昭和27年6月1日

日 本 建 築 協 会 会 勢 委 員 会

35年記念事業後援申込芳名

今次記念事業企画発表以来、各部門金会員に格別の御協力と御支援を頂いております事を厚く御礼申し上げます。目下各部門関係委員各位の御手許で取極めを願っておりますが、本日現在迄に本会宛直接御申込み賜つたものは下の通りであります。

昭和27年5月20日

記念事業委員会委員長 資金部長 東 畑 謙 三

◎ 申込芳名並金額(申込受付順)

東洋洋瓦株式会社殿	20,000円	今 田 隆 人 殿	300円
池 田 建 材 殿	10,000円	元 木 貞 治 殿	1,600円
田島応用化工株式会社殿	50,000円	中 谷 至 広 殿	300円
浜 田 理 一 殿	1,000円	佐 久 間 逸 治 殿	500円
神 谷 新 一 殿	1,000円	落 合 勇 一 殿	300円
小林建設株式会社殿	1,000円	竹 腰 健 造 殿	10,000円
株式会社大阪防水建設社殿	3,000円	熊 本 喜 代 司 殿	300円
TY防水工業株式会社殿	2,000円	中 野 順 次 郎 殿	1,000円
黒川化学工業所殿	2,000円	株式会社大阪建築事務所殿	30,000円
大日特殊建材工業所殿	2,000円	池 田 宮 彦 殿	300円
工藤建設株式会社殿	300円	高 橋 慶 夫 殿	300円
清 水 一 雄 殿	1,000円	前 内 文 二 郎 殿	300円
山 本 良 雄 殿	500円	柴 川 伝 槌 殿	500円
加 田 安 彦 殿	300円	福 田 万 亀 雄 殿	1,000円
やよひスレート株式会社殿	10,000円	荒 川 市 次 殿	300円
		中 島 茂 右 工 門 殿	300円

株式会社明和工務店殿	3,000円	東畑 建築事務所 殿	30,000円
株式会社竹中工務店九州支店殿	3,000円	浅海電気産業株式会社殿	50,000円
池田谷 久吉 殿	300円	飯 塚 源 吉 殿	1,000円
池 田 武 彦 殿	300円	井上工材株式会社殿	20,000円
林 金 房 殿	300円	石井建村有会社殿	5,000円
左谷 米三郎 殿	300円	株式会社平田タイル本社殿	10,000円
大阪土木工業株式会社殿	1,000円	大和工業株式会社殿	5,000円
小 林 盛 太 殿	300円	和田木村工芸株式会社殿	1,000円
久保田 種吉 殿	300円	株式会社平山木工所殿	1,000円
石 橋 健 市 殿	100円	島 村 佐 次 郎 殿	3,000円
株式会社村田硝子店殿	10,000円	日本板硝子株式会社殿	50,000円
株式会社山本建村社殿	10,000円	村野・森建築事務所殿	30,000円
株式会社藤本工務店殿	1,000円	日新工業株式会社大阪支店殿	50,000円
岩 佐 直 則 殿	1,000円	藪 中 一 良 殿	300円
山本薬業商店 殿	10,000円	岩 本 博 行 殿	1,000円
野 中 駒 市 殿	1,000円	渡 実 幸 殿	300円
田 村 商 会 殿	500円	桑田硝子株式会社殿	5,000円
株式会社河野組 殿	3,000円	高野アスファルト工業株式会社殿	3,000円
内外土木建村社 殿	10,000円	近畿電気工事株式会社殿	80,000円
ナニワ瓦株式会社殿	5,000円	萩 野 賀 一 殿	300円
上 島 八 助 殿	300円	梅 野 三 蔵 殿	500円
吉 嶺 誠 丸 殿	1,000円	赤 江 久 寿 彦 殿	1,000円
竹 内 さ く 殿	300円	中 村 牧 次 郎 殿	1,000円
大 西 正 一 殿	300円	高 島 太 郎 殿	300円
速 水 逸 夫 殿	300円	島 田 啓 太 郎 殿	600円
竹 内 孝 殿	1,000円	武 田 経 一 殿	1,000円
鹿島建設株式会社九州支店殿	3,000円	株式会社建村社大阪支店殿	50,000円
吉 田 安 三 郎 殿	1,000円	今 林 彦 太 郎 殿	1,000円
徳水硝子株式会社殿	50,000円	中西瀝青産業株式会社大阪営業所殿	2,000円
伊 東 五 郎 殿	1,000円	株式会社久保商店殿	20,000円
野沢石綿セメント株式会社殿	50,000円	株式会社 明正社 殿	2,000円
東洋陶器株式会社大阪営業所殿	30,000円	東 建 商 会 殿	2,000円
栗原工業株式会社殿	50,000円	日建設計工務株式会社殿	50,000円
千 賀 正 人 殿	300円	岩 崎 甚 太 郎 殿	1,000円
喜多村 義雄 殿	1,000円	株式会社大阪吉川商店殿	3,000円
藤 勝 治 殿	300円	株式会社室谷商店殿	10,000円
鈴 木 広 好 殿	1,500円	安田レー尔株式会社殿	5,000円
板 井 公 威 殿	300円	丸尾建村株式会社殿	5,000円
大谷 木 広 殿	300円	山 東 商 会 殿	3,000円
野 崎 謙 三 殿	600円	栗 本 栄 一 殿	1,000円
熊谷組堀井出張所殿	3,000円	赤 坂 建 材 店 殿	5,000円
内 藤 多 伸 殿	1,000円	株式会社中央商会殿	5,000円
阪 口 貞 一 郎 殿	300円	岩元工業株式会社殿	5,000円
上 林 博 雄 殿	300円		
芳 川 時 男 殿	300円		
堅 田 静 雄 殿	500円		
保 岡 源 三 殿	3,000円		
東 畑 謙 三 殿	3,000円		

(以上五月二十日まで受付の分)

櫻山株式會社本社

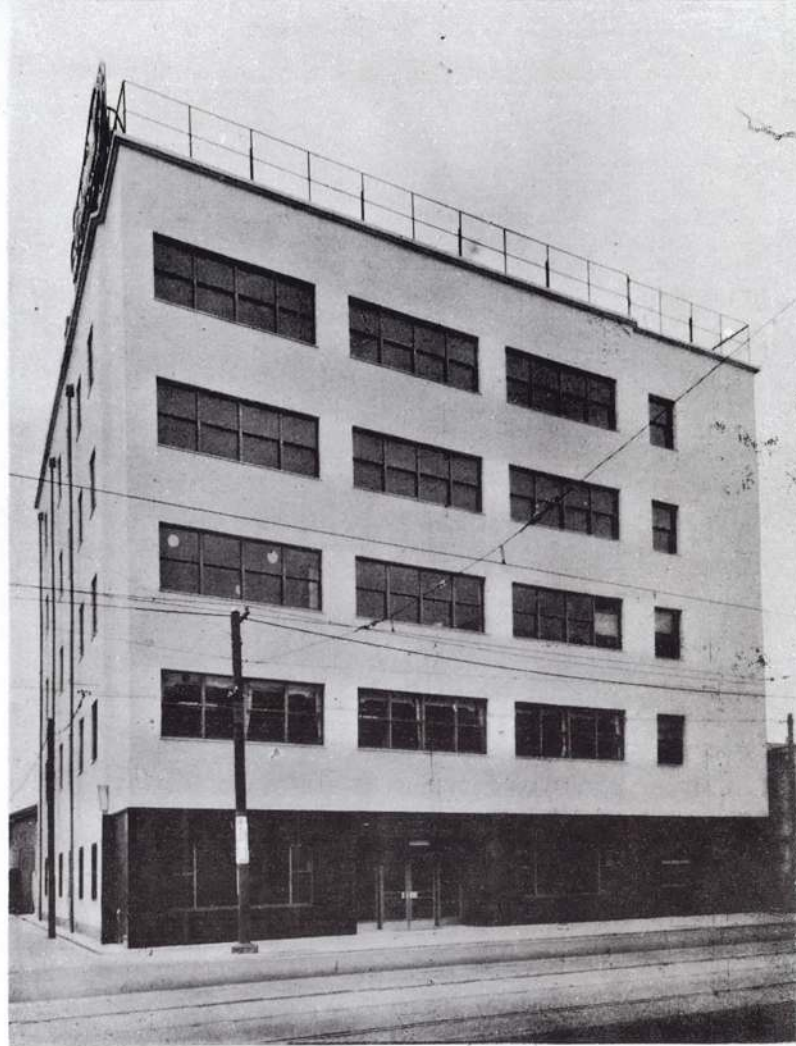
大阪市東區本町五丁目二三番地

設計 施工 不二建設株式會社

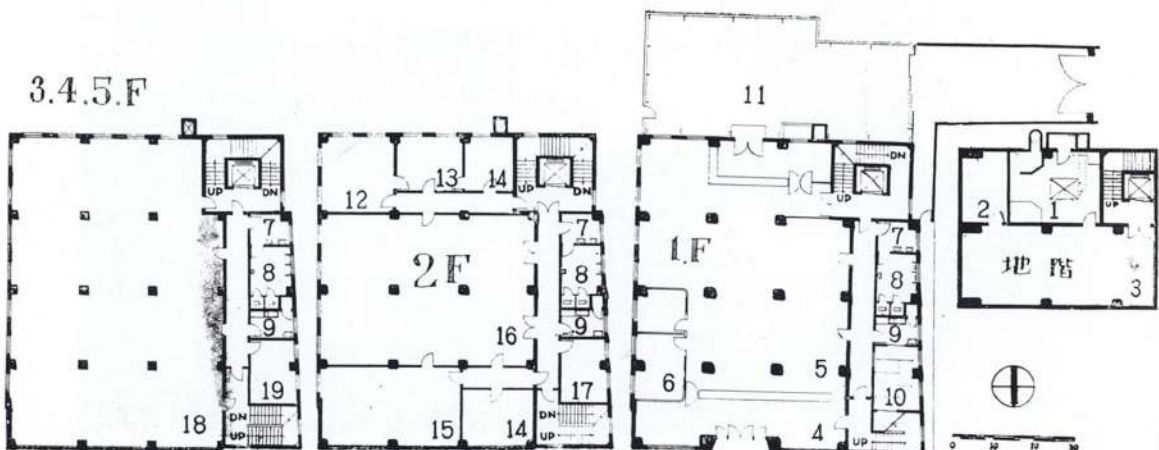
工事 擔當 小川靜一良, 門田宗市

林 弘, 渡邊利雄

電 氣 設 備 淺 海 電 氣
 煖 房 設 備 大 阪 電 氣 煖 房
 給 水 衛 生 西 原 衛 生
 エ レ ベ タ ー 富 士 輸 送 機
 ラ ジ オ テ レ ト ー ク 三 電 氣 株 式 會 社
 室 內 裝 飾 宮 崎 木 材 工 藝
 ス テ ー ル サ ツ シ ュ 理 研 鋼 材
 硝 子 工 事 栗 山 板 硝 子
 タ イ ル 伊 奈 製 陶
 大 理 石 矢 橋 大 理 石
 リ ノ リ ュ ー ム 東 洋 リ ノ リ ュ ー ム
 テ ラ ズ オ ブ ロ ッ ク 日 本 テ ラ ズ オ
 構 造 鋼 筋 コ ン ク リ ー ト 造
 面 積 建 坪 148坪 延 坪 803坪
 工 期 1951・2→9→12。



平面圖說明 1. ボイラー室 2. 電氣室 3. 倉庫 4. 客溜
 5. 營業室 6. 應接室 7. 洗面所 8. 便所 9. 湯沸場
 10. 小使室 11. 荷受場 12. 社長室 13. 役員室 14. 應接室
 15. 會議室 16. 製品検査室 17. 電話交換室 18. 製品陳
 列室斷裁室





社 長 室

仕上概要 外部1階正面 黒御影石水磨仕上、面格子ホワイトブロンズ製
 2階以上 アイボリー色タイル貼仕上、裏面ハ全色リシン仕上、各窓、
 スチールシャツタ付上下式スチールサツシユヲ使用、附屬荷受鐵骨製波
 型スレート貼仕上、
 内部各階廊下及廣間等主要部分床ハテラズオ眞鍮目地入研出仕上、事務
 室床ハ東洋リノリユーム製品使用、社長室及重役室、應接室、會議室ハ
 リノタイル貼、壁ハ一般ニプラスター仕上、特ニ社長室ハ化粧高級楠ベ
 ニヤ板貼、重役室ハ塩地柁ニヤ板貼、一部應接室ニハオリエンタルク
 ロス貼ペンキ仕上、會議室ハ壁紙貼、天井ハ一般ニプラスター仕上特殊室
 ハ水性ペンキニ化粧塗裝ヲ施ス、照明ハ主要階螢光燈照明、上階ハバ
 イフペンダント式、エレベーターハ三菱製品ヲ使用、客、貨兩用トス。電
 話交換室及1階ニハラジオテレトーク送話設備ヲ設ク、全階蒸氣暖房設
 備ヲ設ケ給水衛生設備等最高水準ノモノ使用ス。

應 接 室





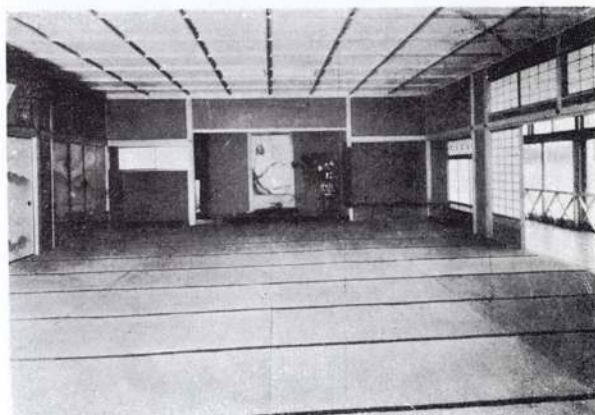
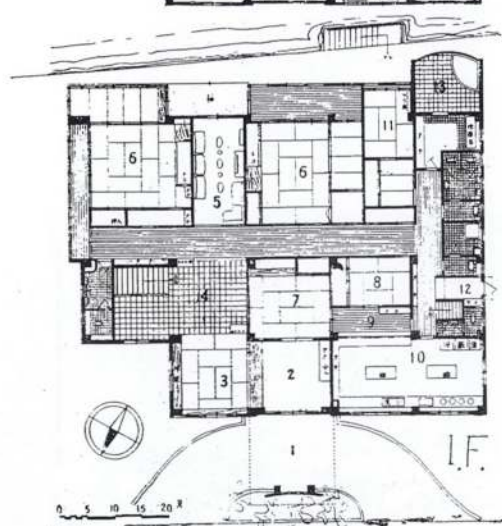
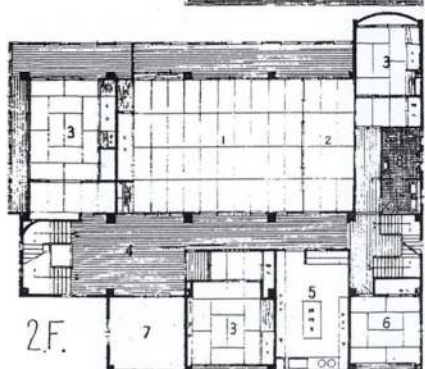
工事概要

構造 主体鉄筋コンクリート造 3階建
 外装色モルタル掻落し仕上 内装和風
 数寄屋造一部洋室 面積 1階121.98坪
 延279.07坪 平面圖説明 1階。3. 廣間
 4. ホール 5. 談話室 6. 客間 7. 帖場
 8. 仲居控室 9. 配膳室 10. 厨房 11.
 主人室 12. 内玄関 13. 浴室 2階。
 1. 廣間 2. 舞台(次ノ間) 3. 客室
 4. ホール 5. 配膳室 6. 女中室 7. 物入
 3階。1. 和風客室 2. 洋風客室 3. 洋室
 4. 配膳室 5. 物入 6. パルコン 7. 屋上

岡崎旅館

下關市壇浦阿彌陀寺町

設計施工 大林組





平和大橋勾欄

設計 Isam Noguchi

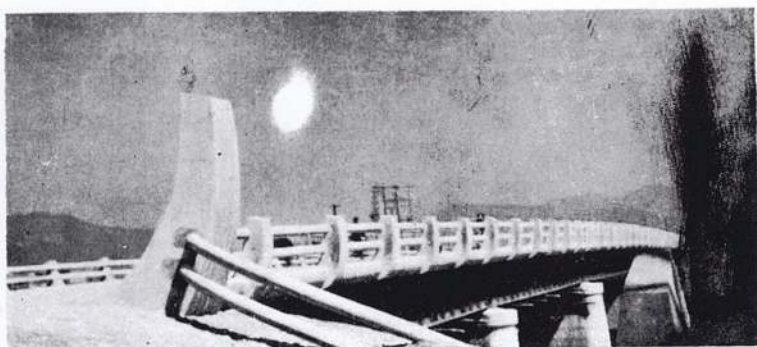
施工
建設省直營

概要	
平和大橋	全長 85.55 米 巾 15. 米
西平和大橋	全長 101.90 米 巾 15. 米

平和大橋



西平和大橋



広島市の平和大橋勾欄と慰霊碑の設計不採用問題について

吉 田 三 郎

は し が き

かねて広島名物として、市の中央部平和記念公園両側に架かる平和大橋の勾欄工事は急がれていたが、この程完成した。この勾欄の設計は、世界的彫刻家である、イサム野口氏の設計になるもので、彼の設計発表以来その設計が、今までの勾欄の概念にない、哲学的造形感覚、芸術であるだけに、市民の関心も、又大きくその完成が待たれていたものである。又最近に至り平和公園内に建つ慰霊碑の設計に関し、イサム野口氏に依頼されていたと云ふ、設計が不採用になり、依頼者と設計者との間に、複雑な問題が生じ、世間の注目するところとなった。以下はこの二つの問題を述べるものである。

1. 広島平和大橋勾欄の設計について

(イ) 平和大橋及西平和大橋の概要

架橋の位置は、広島市市内を流れる7本の清流の中央を流れる、元安川と本川に挟まる、中島地区の先端で、広島平和記念公園前を通る、平和大通り（この道路は東方の比治山より西方に、一直線已斐に至る巾員百メートル道路）に架る両橋で、平和記念公園の、東の橋は平和大橋と称し、元安川に架かり、西の橋は本川に架るもので、西平和大橋と名命せられた。

起工は昭和25年11月2日、同26年9月20日に竣工したもので、工事は両橋で、83,450,000万円、其の他勾欄及び盛土工事が20,000,000万円この内勾欄工事費4,564,000万円となつて居り、勾欄の総延長は423メートルである。平和大橋は株式会社松村組、西平和橋は株式会社水野組で施工したものである。両橋の構造は鋼鈹桁橋で、平和大橋の長さ85.55メートル4スパン、幅員は15メートル、西平和大橋の長さは101.90メートル5スパン、幅員15メートルで、基礎は井筒基礎工法であり、本工事は建設省中国四国建設局工務部で、設計監督のものである。この工事は広島市長が同局に設計より工事管理一切委嘱したものである。

(ロ) 橋の名前について

橋の名称も新らしくしたいと言う、市理事者の考へから、両橋と百米道路の名前を、懸賞募集することになり、募集の結果は、応募したもの1436人で、審査委員会に於て公平なる審議の結果、先ず名前の候補にあがつたものは、東の橋（旧名新大橋）には、西平和大橋、平和橋、曉橋、あけぼの橋、大平橋等で、西の橋（旧名新大橋）には、西平和大橋、平和橋、西大橋、平安橋等が候補として取りあげられ、又百米道路には、平和大通り、平和記念道路、中央通り等が候補にあがり、これらの中

から抽籤によつて、下記の通り決定せられ、入選者にはそれぞれ金3,000円が贈呈された。

東の橋＝平和大橋、西の橋＝西平和大橋

百米道路＝平和大通り

(ハ) 設計の理念について

この設計の理念については、吾々はこれまでの橋の勾欄や、親柱の概念よりはるかに高度な、哲学的造形感覚を持つた、芸術作品であるために、その設計理念の理解には、難解であるから、私の主観的な批判は、出来得る限り遅けたいと考へる、それで以下野口イサム氏から、広島市長に宛てた、書翰を御披露すると、共に、新聞記者の鋭い感覚によつて、新聞に発表された記事も大いに参考となるであらう。

1951年9月18日

ニューヨーク市西第57番街113

い さ む 野 口

広島市長 浜井信三殿

唯今、8月30日付貴翰有難く拝受致しました、私が御送り申しました橋欄の意匠が、御氣に召しました由で大変嬉しく存じます。お問合せの二橋梁の命名について申し上げます、

橋欄設計の際、私は東の橋は、建設の理念……即ち新たに自己の生活を建設する者の特に再建広島理念を伝えるものとすべきであると考えて居りました、従つて私は建設を意味する名前をその橋に付けたいと存じます、日本語では「作る」に当るかと信じます。西方の山に面する方の橋はその形が何か船に似た所であり、出離の理念一即ち「人生よさらば」広島がその記念となつた悲劇の経験よ、さらばということを伝えるべきものと考えます。

従つて此の橋には離別の理念を以て命名すべく日本語では「行く」にあたりましょう。

註「造る」と「去る」という案も有りますがどちらかいい方を御決め下さい、若し私の提案しますこれらの名前を御考慮いただけましたら甚だ光榮と存じます。

橋の建設が急速に進捗して居り、10月中旬に私が再び広島を訪れます際には、殆ど完成した姿を見られるかも知れないと承り嬉しく存じます。云云

何でしょう 朝日新聞記事（3月19日）

「広島発」和船のヘサキを思わせる欄干の先端にでかい半円球をくつつけた奇想天外の橋が「原爆広島」のピースセンターに姿を現した。これは「哲学的造形感覚」で有名な、国際的彫刻家イサム野口氏がデザインした。

活を建てて行くとも理解せられる、先に述べた二つの広島
の姿の内「地上に生活する市民の顔は大きな願望にも
えてたくましい」これらの概念によつて橋の親柱の姿は
生れたと考へられる。その親柱の姿は市民の顔が天に向
つて永遠平和で、且広島建設の理念に基く建設の願ひを

もうなんといつてもあのような恐しい夢は二度とみたくないとぼくは思ひます。原爆に打ちひしがれ、水魔におびやかされたぼくにも、いまイサム・ノグチさんの手で春がおとずれてきました。両腕を高々と空に向つてのぼし、平和の春を今こそ思ふぞんぶんに満喫しようと思います。たとえ、もはや平和が力以外では支えられないと考える人達や平和の題目をなんらかの目的のために使う人達に朝に夕にふみつけれないじめつけられても一生けんめいな気持で平和の春を喜ぼうと思つています。＝広島市大手町校一年生へいわおおはし

船端に似たこの奇妙な橋の欄干は、彫刻家イサム野口の指導によつてこの程完成したもので、一つは平和大橋（元安川）他の一つは西平和大橋（本川）として百米道路を飾り、広島市の新名物となつているが、広島県民は野口夫妻にちなんでイサム橋、淑子橋の愛称をつけている。

昭和27年6月11日に工事指導のため広島に来られた時、工事現場で、「6年前のいまはしい、雰囲気は地上に静かに残っている。しかしその地上に生活する市民の顔は大きな願望に燃えてたくましい、この二つが広島姿である」と言つて帰米せられた。

東の橋（平和大橋）の勾欄の理念は「作る」と言う意味から考えて見ると、「作る」とは二つの意義を以ていると考えられる。一つは建てるとか、又設ける、即ち広島再建の理念を伝えるところの建設である、他の一つは人を育てる、即ち自己の生



たくましく笑えんでいる姿の様相であるとも見える。

西の橋（西平和大橋）の理念に於ては、勾欄の形が船の竜骨に似ており出離の理念を表現したもので、出離とは煩惱又は苦界をいで離れることである。「人生よさらば」はこの出離の意味の中に含まれると解したが妥当であり、日本語の「行く」である「行く」は去つて帰らないの意である、橋の全体が船の形に似ていると言ふことは出離、即ち、広島が原爆で受けた悲劇的苦悩は、この船に乗つて西方のかなたに去つて帰らない「ノー・モア・ヒロシマズ」の意にも通じる。

イサム野口の芸術観は「新しい芸術家は、都市計画、集団計画と密接に関連して作品を作らねばならない。しかし都市計画、集団計画の線に沿うて発展して行く新建築はもはや装飾を必要としなくなつた。過去の装飾的置物としての彫刻は必要でなくなつてしまつた。それは全く正しいことである。しかし彫刻は建築と完全一体となつて、建築が作る空間を造形的に一層有意義にすることが出来る筈である。天井も床も彫刻であり得るのである。そして彫刻家は建築家と協力して、建築をそして彫刻を一層高度の芸術に高めなければならない」と云ふのである。こう云う目で彼の作品を見て行くと平和大橋の作品の意味が判つて来る。四月六日広島市を野口氏と共に訪れた、山口淑子さんは「野口の橋は立派にできているので驚きました、主人の仕事をはめるのは変ですが、シンプルで、なかに新鮮なものを感じました、あの橋を広島の人はどう思つてられるかしら」と語つたと言ふことであるが、橋の設計が奇想天外で斬新なものだけに心配の意味をもらしたのであろうか？

（二）平和大橋勾欄のデザイン同意について

昭和26年8月7日広島市議会に於て、同橋勾欄の設計並設計料が問題となり、同問題は委員附託ということになつたので8月8日建設委員会を開き同問題を審議決定することになつた、議題は第九十八号議案橋梁工事施工に関する同意と言ういかめしい議題であるが、内容は野口イサム氏の設計を採用するに当つて市長のとつた態度である、委員会は委員9名理事者側11名の出席のもとに開会せられた、市議会及特別委員会に於て設計の問題がかくも慎重に論議せられたことは滅多にないことである、吾々技術者としては深い感心を持つたのも当然のことである。同委員会の討論の模様は大体次の如きものであつた。

先ず委員長から市理事者の責任者（建設局長）に野口イサム氏に設計依頼までの経過の説明を求められた、建設局長は同氏設計図を提示してこれまでの経過を説明した。A議員猛然立つて「市長が事前に議会に相談することなく、而も芸術価値のみより実用性も等閑に附したことは誠に遺憾である、かりそめにも広島復興のピースセンターであるこの両橋に対して市長のとつた措置は余り

にも輕率ではないか。」二三の委員の市長の答弁を求める声あつて、委員長「市長の責任ある答弁を要求する」と市長の出席を求めた。数分の後市長出席あつて次の如き答弁が繰り返された。市長「芸術価値の批判はいろいろあると思うが、今後広島は日本の広島であると共に世界の広島である。世界各地から観光客もどしどし来ることでもあるから広島の名物となると考えたので是非野口氏の設計を用い度い。この設計に関しては、建設省広島地方建設局と相談したが地建としても野口氏の設計には賛成である。」A委員「市長が市議会に相談なく取決めたということはどこまでも遺憾であるが、市長が広島復興のために肚をかけてやつたと言うのなら審議の態度も違つてくると思ふ。」市長これに答えて「地建も野口氏の設計に対して快諾して居り、自分としても結構なことであると思ひ野口氏に依頼した。また広島建設委員会（中央に市長の諮問機関として広島平和記念都市建設専門委員会が設置せられ委員長は飯沼一省が就任）の寄附は一応本市の予算化して支出すべきものと考え今回の提案した次第である。急を要したので市会に諮ることが出来なかつたことは残念であるが、勿論自分の責任に於て施工する考えである」A委員「事後に於て押しつけるようなことをせず、将来は事前に市議会に相談せられ度い、尙設計図を見ると甚だ安全性を欠くように思われるがどうか」市長「芸術価値を優先させるべきことには自分も同感であるが、安全性についても心配はないと考える、またかりに野口氏の設計を採用しないにしても謝礼は贈らねばならない。」B委員「市議会が否決すれば、道義の問題が生ずる、然し市長が独断で決定したことは誠に遺憾である」A委員「この問題は50万円の委託設計料金の高下を云うものではない。市長は市議会運営の認識を誤つている。この問題は全員協議会を開催して処置を講じたが宜い」委員長機を見て「採決したいと思う」と語ればA委員「採決に反対するものではないが自分は採決には加わらない」C委員「地建の最高責任者の意見を徴してはどうか」これに建設局長答えて「地建の意見を徴しても芸術的価値については答弁できにくいと思う」市長「設計の実施に当つては構造上の安全性を充分検討する」B委員「これで委員会として審議はつくされたと思うので、この辺で結論を出されてはどうか」C委員「本会議で問題委員会附託となつた問題であるから結論を出して、委員長報告されてその際異議があれば修正することも出来る」委員長「それでは討論も出儘したように思われるから結論を出し度い」二三賛成の声あつて、委員長「市長を信頼して原案を承認したいと思うが、将来に於てはかかる紛糾の起らぬよう市議会に相談せられるよう要望したい、50万円は貴重な寄附であるから芸術的には勿論のこと実用的且つ安全性についても市長が絶対の責任を持つて施工せられるよう、以上希望事項を附

して原案を承認すること決して異議はないか」異議なしの声あつて異議なく決定された。これで理事者側もほつと一安心したところであるが、まだこの外に野口氏とは如何なる経歴を有する人か、50万円の設計料は従来の設計料に比しては高価ではないか、又野口氏芸術とは三角やら丸いものを造る芸術家ではないか。かかる芸術が広島人に理解出来るものがあるか、懸賞募集をしたらどうか、等色々の質問が寄せられたように聞いているが異議なく決定したことは、広島市のためにも野口氏のためにも誠に幸であつた。かくして市議会本会議には委員長の報告通り可決されたのである。この設計問題に対して市長及市議会のとつた態度は実に立派なものである。市議会に相談なしに市長が独断で決定したことは宜しくないが、広島市復興のためにかくすることが最善であると信じてやつたことには、吾々も賛成する又市長としても独断でなしたことは良くはないが、時間の制限上止むを得なかつたとして、事後ではあるが市会に諮つて円満に可決せられたことは、誠にたのもしきことである。

2. 広島慰霊碑設計不採用問題について

(イ) イサム野口氏夫妻広島に来る

4月7日午前11時頃市役所の市長室前は突然の黒山の人だかり書類を運ぶ女事務員も歩行困難の程である、これは国祭結婚で話題をにぎわした、世界的彫刻家イサム野口氏と山口淑子さんとで突然広島市役所を訪れ、今夫妻は浜井市長と平和記念公園内に建つ建霊碑設計不採用問題について懇談中である。元李香蘭で売り出した山口淑子さんを見ようとの人だかりである、市長室から出て来た野口夫妻も驚いたことであろう、野口氏は薄緑色の背広をスマートに着こなして如何にも彫刻家らしい態度である。山口さんのその日の衣裳は和洋折衷の日本服と云つた感じ、着物は柿色、わき明けのない元祿まがいの短かい袖、又あげのないつい丈で、羽織は黒色日本のハツピのように短かく、帯に銀色無地で腰にぐるりと一廻しに右脇の方でジツパーで締めた新発明なもの、髪は軟かいふわりとしたパーマをかけ、かがとの上つたふえと草履に小柄な体を乗せて出て来た、この着物のデザインは云うまでもなく野口氏の設計したものである。

この服装でアメリカからローマ、パリー、東京への世界一周したと云う名代の着物であろう。大へん横道にはいつたが、これも野口氏の芸術であるから参考にならう

と思う。

(ロ) 慰霊碑の概要

広島市では兼ねて平和記念公園内に、原爆で倒れた人々の霊を慰め平和の祈をこめる、戦災犠牲者慰霊碑の建立を計画し、この設計を東大第一工学部助教授丹下健三氏(平和記念公園建設設計の入選者である)に依頼したもので、設計者の丹下氏は、日本古代の住宅を表わすハニワ土器からヒントを得て設計されたもので、高さ60cm、11m四方の基壇の中央に巾6.5メートル、奥行6m高さ5mのハニワ型の家を造り、その内部に原爆死亡者の過去帳をまつる奉霊台を安置するようになっていゝ。又基壇の周囲は御影石張りで上部笠石は同じく御影石積み、基壇の上部は玉砂利を散布し、鉄筋コンクリート打放しの慰霊碑の表面は、木材の木目を浮出させ日本建築の木の心を表わした風雅なものである、工費は300万円で施工は大林組と契約済みで目下着工しつつあるものである。

(ハ) 野口氏のデザイン不採用経過

4月7日突然姿をあらわした野口イサム夫妻の今度の来広は、広島市平和記念公園の慰霊碑は丹下助教授の設計によつて工事に着工せられると聞き、その以前に野口氏は市長から同碑の設計を依頼されて設計したにもかかわらず丹下氏のものを採用して野口氏の設計は取止めとなつた。「私の立場はどうなるか」と松本代議士を通じて広島市長にステートメントを送つていたが、野口氏としても、これにつき理解の出来ないものがあり、市長と直接にこの点につき話合をするために来広したものである。

これについてはこう云う事情がある、慰霊碑は平和記念公園内に建設するものであるから、平和記念公園の設計者であり公園内の施設全体が指導立場にある丹下氏に依頼するのが市としても都合が良く且道義的でもある。平和大橋のときデザインについても問題になつた事実もあり、万一不採用になつた時はお互に不愉快な問題にならぬとも限らないし、又予算運営上の関係等もあつて丹下氏に依頼することにしたもので、丹下氏から野口氏に依頼することは丹下氏の自由である、この前、平和記念館の設計も丹下氏の設計したものであるが、構造計算は東大教授の松下清夫博士に丹下氏から依頼して構造計算はなされたものである。今回の場合も丹下氏から野口氏に依頼しても何等矛盾はないはずである、このことは野



近代建築の粹

世界市場に雄飛する

床材は リノリウムと リノタイル

東洋リノリウム株式会社

本社及工場 兵庫県伊丹市伊丹五五八番地 電話 伊丹一・五二・六九番
 東京支店 東京都中央区銀座四丁目(三和ビル) 電話 京橋一七〇一・二五六四番
 大阪事務所 大阪市東区瓦町二丁目(三和ビル) 電話 北斎三・五・三六六番

TOYO'S LINOLEUM & LINOTILE

口氏も丹下氏も良く了解のあつたはずである。併し遺憾なことは野口氏の一月に設計図を市に送られ、これを建設省に提示し尚広島平和記念都市建設専門委員会に諮つたところ審査の結果両方から野口氏の設計は抽象的で設計理念の理解に困難であると云う理由から不採用になつた、この間に於て野口氏は外国人であるから不採用にしたとか云うことが云われている、正否の程は判らないが、この点野口氏としても理解に苦むところであり、遺憾なことである。野口氏談によれば「この設計は自分が浜井市長から直接頼まれたもので自分は世界で初の原爆をうけた広島市民が永遠の平和を祈念しているのに強く心をうたれ、世界の広島に立派な慰霊碑を建てることは芸術家として、これ以上の名誉はないとの感激にもえ心身を打込みしかも無報酬でこの設計を完了した。建設委員会が私の設計不採用にした一つの理由に私が外国人であることがあげられていると聞いた。また丹下氏の新しい設計は自分の構想をもとにヒントを得たように思う。単に外国人であるからとの理由だけなら絶対納得できないし、不採用になつた理由が明示されない限り芸術家として、だまつているわけには行かない。この気持は市民の方にもわかつてもらえと思う。しかし私の設計が、いけば修正もするし、私は丹下氏と協力してもよい、また私の名前が全く出なくともかまはないと考えている。」と云つており又これに対し浜井市長は「設計は丹下氏に依頼したものであり、このことは野口氏も承知のはずで、丹下氏が野口氏の教えをこわれることは自由であり、私個人としては野口氏のような世界的彫刻家の設計で慰霊碑が完成すれば市としても名誉なことと思つていた。委員会でも不採用になつたのはあまりアイデアが高く秀れていると云うのが理由で日本人でないからと云うようなことは全然聞いていない、問題は野口氏の設計が建設委員会で拒否され、急を要するため丹下氏が設計しそれが建設委員会のパスすところとなつた、その間の事が両氏の間でうまく連絡がとれなかつたところにあるようだ、野口氏には大へん気の毒に思うが、今は丹下氏の設計が市会を通過し、請負契約も済んで既に工事に着手しているので、今更ら変更はできない、8月6日の原爆記念日にはこの碑の前で慰霊祭を執行することになつている。又某氏は丹下氏の立場をこう語つた「丹下

氏は建設委員と野口氏の間にはいり困つていよう。また設計についても平和記念公園の全体から見て、野口氏の設計の方が全体に良くマッチしているように感じられる、丹下氏としても短期日内の設計でよく構想を練る時間はなかつたであらう。丹下氏として誠に気の毒な立場である」

またこの問題が4月11日の広島市議会に於てとり上げられ、1、2の議員から市長に下のような質問があつた、6日付朝日、毎日、中国3紙に掲載された、慰霊碑設計の問題で野口氏と市長の対決記事は国際影響多大であるが、これについて最高責任者はだれであるか、専門委員会（平和記念都市建設専門委員会のこと）なるものの性格は、慰霊碑は公園の附属物か、松本代議士を通じて折衝を行つたというが事実であるか、外国人であるから断つたというのは事実であるか等の質問に対し、浜井市長は平和都市建設の責任者は市長である。専門委員会は市長の諮問機関である。慰霊碑は公園の附属物であり、同公園の設計者である丹下氏に慰霊碑設計を依頼した。野口氏は自分の設計を生かしたいと思ひ松本代議士に相談したそうだが、私は同代議士に事情を説明したところ同氏も了解した、野口氏の設計が拒否されたのは彼が外国人であるからではなく、彼の設計が余りにも難解すぎるという理由だつた、この問題に關しては国際的問題は別として私と野口氏との問題は解決したと思ふ、と述べた

む す び

さて今回の平和大橋の設計と云ひ、慰霊碑の設計と云ひ、世間に一大センセーションを起した設計はおそらくこれまでにはないことであらう、平和大橋の設計は実に大胆で、しかし広島市の理念の心理的效果をねらつた作品はこれまでにないと言つて過言でないと思ふ、また野口氏の表現力の威大さには感服するとともに、この設計を採用した広島市長の芸術的理解のあることも、また吾々は敬服するものである。

慰霊碑の問題で野口氏の設計が建設委員会で拒否せられたとしても、奇怪なことには平和大橋の勾欄は既報の如く完成し、野口氏の設計が発表されて以来市民間にはあれほど設計理念が難解とされたにもかかわらず未だ悪いと云う批判を開かないことである。しかし今後はこの作品について色々と批判も行われることであらう。終り

（筆者 会員建築家）

東洋の

リノリューム

大阪市東区瓦町2丁目（三和ビル6階）

株式会社 東 工 社 北浜 377.378
東京都中央区銀座東6丁目木挽町ビル 電話銀座 (57) 3744

リノタイル
アスタイル・ゴムタイル
其他床材一式施工



広島平和記念陳列館を施工して

橋 本 定

この建物は被爆中心点と目される元産業奨励館被爆鉄骨ドーム中心より市の中央を東西に走る100m道路に対し直角に垂線を卸した線を建物の中央とし道路より60m後退して建設されている更に建物より135m後退して記念碑が配置されているそのため見通しを可能にし耐震性を得るために第一階は近代的なピロツティで支えられた重構造であり其の上に二階の方立と小梁からなる軽構造が置かれ耐震的考慮がはらわれており二階方立高さ6.722mの間から射す直射はコンクリートのルーバーに依り調節されている之等建物の外観は一階異型12本の柱と8本の角柱とからなるアーケードと共に凡てコンクリートの打放しであるため型枠とコンクリートに対しては特に入念な注意が払われた其の主要な点は

型枠 板巾.4'厚.08'本実ブレーナーかけ。棧木厚.1'骨板1'間。腹起.35'角3'間曲面楔締め。締付12mmφ。型枠面坪当り大工手間2.64人釘200釘建物延坪当りの型枠材は2.12石を使用した施工季節が酷暑の頃であつたため型枠の隙間を防ぐためコンクリート打込前72時間位散水し特に型枠離脱材は使用しなかつた。

コンクリート 使用セメントは早期強度を得るため宇部超高級セメントを使用した其の強度は第1表の如きセメント強度試験結果に依り数種の調合比の供試体の試験の結果第2表のものを採用することとした。

1. 混和時間は最終材投入後3分間。2. 使用ミキサー-14%。3. バイブレーターはフレキシブル2台。4. 打込速度毎時高さ60cm水平とし1日の打込量は約6立坪と制限した。打込みは落下分離を防ぐため筒型シュートによりなされたためAエ剤を使用しなかつたが結果より見てやはりAエ剤は使用すべきであつたと思われる。

硬化熱 1階異型柱12本は夫々断面2.35m²~2.43m²体積15.5m³~16m³にして共に大きく且つコンクリートの早期強度を得るため粉末度の高い早強性セメントを使用したので打込後相当の硬化熱が起る事が予想された然も表面打放し仕上げであるため硬化熱による表面亀裂の生ずることを警戒し之の測定と防止方法を考えた即ち幸なことには各柱の大体中央部に雨水排水用ヒューム管が配置されていたのでこの中へ温度計を挿入し12時間毎に測定して次の結果を得た。昭和26年7月31日。亀裂防止処置としては各管内にホースにて水を流し内部より冷却すると共に外部より絶えず散水し測定結果に依り一週間継続した現在亀裂は生じていないから或る程度の効果は認められる。

概要。起工、昭和26.3.22。竣工、昭和27.1.31。場所、広島市中島公園内、建築面積、1395m² 延べ面積、2484m² 軒高13.22m構造鉄筋コンクリート造二階建（中三階付き）設計監督、丹下健三計画研究所、広島市役所。施工、大林組。（筆者 大林組広島支店工務課長）

第1表

材令 供試体	3日	7日	28日
試片A	124	205	395
B	120	206	403
C	126	198.5	402.5
平均	123.3 kg/cm ²	203.0 kg/cm ²	400.1 kg/cm ²

第2表

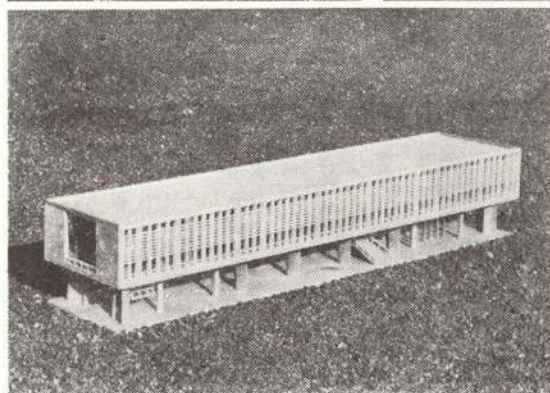
調合比	1:2.34:3.15
所要量	コンクリート1m ³ 所要量
W/C	65%
スランプ	15cm
セメント	310kg
川砂	745kg(太田川産)
砂利	20mm下1125kg(岩国産)
水	201kg

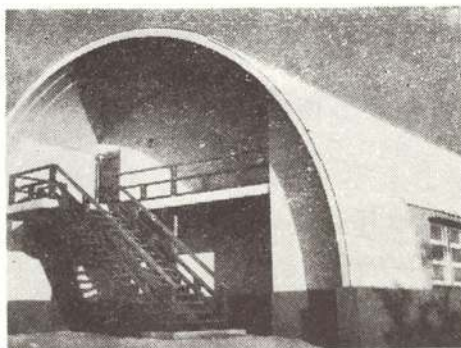
第4表 硬化熱測定表
(副射熱に依る温度の修正はしてない)

コンクリート打込後の経過時間	測定時の外気温度	硬化熱度
3時間晴	29°C	39°C
12 //	25°	40°
24 //	28°	40°
36 //	25°	38°
48 //	28°	35.2°
60 //	25°	33.5°
72 //	27°	33°
84 //	25°	31°
96 //	27.5°	31°
108 //	25°	29.5°
120 //	27.5°	29.5°
132 //	24°	28.5°
144 //	27.5°	28.3°
153 //	24°	26.5°

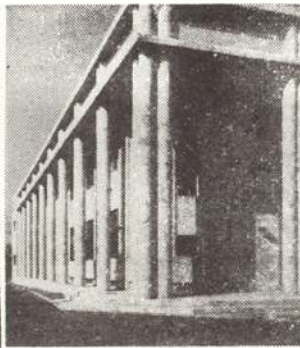
第3表

材令 供試体	28日
A	215
B	225
C	
平均値	222.5 kg/cm ²

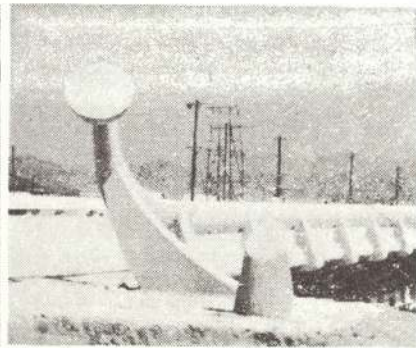




A B C C



郵便連ビル



平和大橋勾欄

来いの場所の様である。

更に2階の6米70余の垂直に並んだ方立を所定の厚みを得る為にコツリコツリとはつつているのを見て若いものがそばで「はは……やろうと思えばどんな事だつて出来るんだなあ」「なまじつか現場なんか知らない方が勇気があつて良いよ」等と話しているのを聞いて私は苦笑を抑え切れなかつた。

「若し俺が大臣だつたらあんな不経済なものは建てさせない。」と云つた誰かの言葉を思い出しながら悪い足元に洋服を気遣いながら陳列館に暇を告げた私の頭の中には只「ビックリした」の一語丈が残つていた。

この記念館の前に例のイサム氏御自慢の高欄を付けた東と西の両平和大橋がある。東の運の矢が頭を上げた様なのが「向上」を意味し西の二本の丸棒が地中に埋れているのが悲哀を意味するのだそうである。

何はともあれ、イサム氏の気高い(?)芸術には一応の敬意を表するものとし、一介の建築家としての立場から御意見申し上げ度い。と云うのは特に西平和大橋の悲哉の方の手摺と橋床との接面が丸くなつてゐるのはどんなものでしょう。手摺に寄り掛つて恋を語る二人は足が滑つて河中へ真逆さまに……。と云う事にはならないでしょうか。

親柱の根元も近くを歩く人がつまづいて転ぶであらうし、又悲しそうに(?)地中に頭を突込んでゐる二本の丸い手摺は子供の滑り棒にでもなりそうである。若し過つて河の中へでも落つこつたら大変で「滑るのが悪い」では済まされない問題である。

ここまで歩いて来たら見るべきを見たと云う安心感と飛び廻つた疲れとが一緒になつて、飛行場へでも行つた様な百米道路の草むらにとつかりと尻を落した。

(筆者 白土建築事務所長)

松江の観光と菅田庵

飯 塚 源 吉

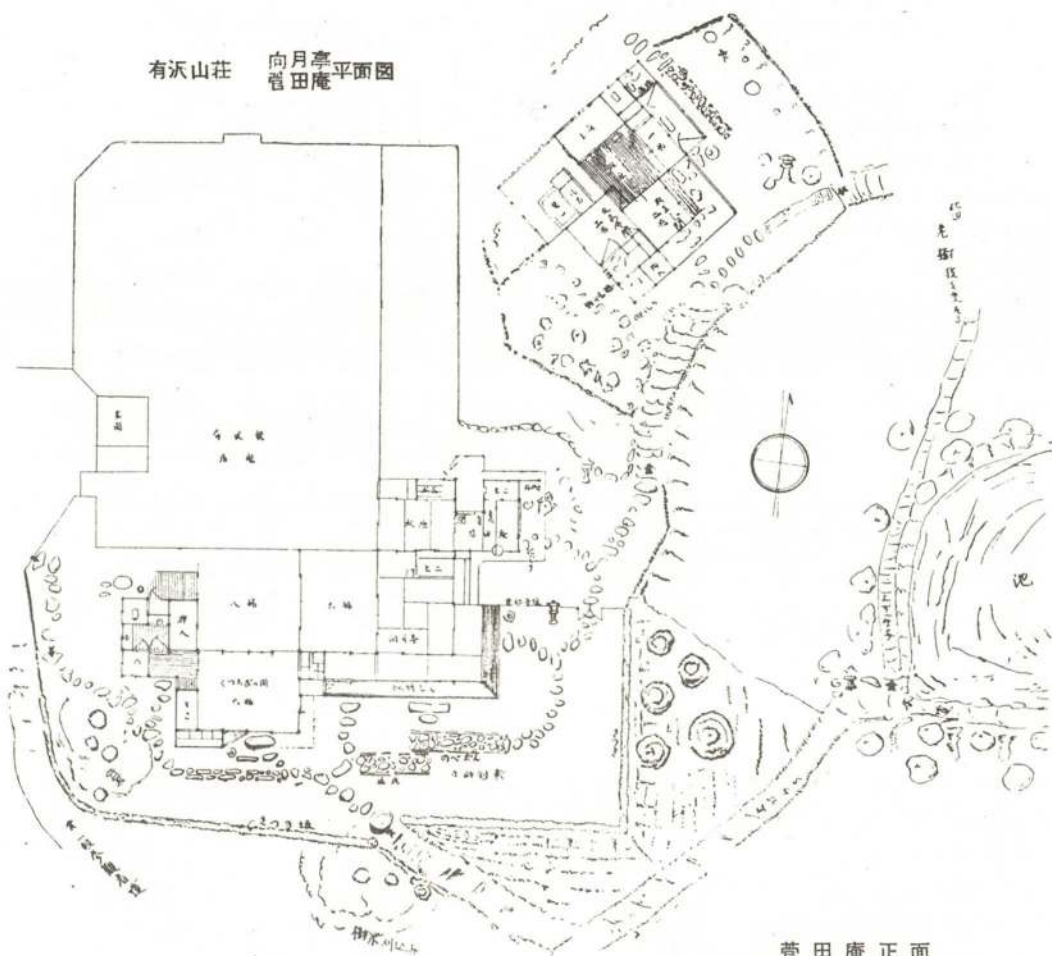
文豪ラファディオ・ハーンをして東洋のジュネーブとまで讃美せしめた山陰の首都松江は人口僅か8万の小都市ながら地方行政、教育の中心である。慶長の昔堀尾吉晴によつて築かれた松江城はその後松平直政信州より移封されて18万6千石の城下町としてその偉容を誇つた松江は普く文人墨客によつて紹介されているが、今回中国号刊行の好機に貴重な紙面の割愛を願つて、松江及菅田庵を中心とした建築の展望を紹介いたします。

出雲大社に参拝した多くの人々は車中から簸川平野に点在する家屋毎に必ず宅地の西北方に築地の松(屋敷の端に一行に植えた松が家屋の棟より遙かに高く整然と刈られてゐる)に疑問を抱くであろう。これはこの地方特有の強風に備えたものであるが松江地方ではこの様な心

配はなく殆んど勾配の緩い黒瓦葺の切妻造りで外観は極めて簡素であるが内部に入れば客室等は名木を用い相当の雑作を施したものもあり又数寄屋風の雑作には見るべきものが多い。屋根の黒燻瓦は松江附近から産出するものであるが意東瓦は比較的優れており、石州瓦は殆ど赤釉薬瓦であるが黒釉やマンガン瓦もある。これらは永久的な耐久性のものでその形状もフレンチ型もあり県外移出は北国向けのものが比較的多いと云う。

松江市は度々の大火に遭遇しながらも、木材に恵まれ、数寄屋風を好むのと因習から耐火建築は極く少く公共並に個人商店を合せても漸く十指を屈するに足る程度で現在漸く松江電報局と山陰合同銀行本店の新築工事のエレベーターを見るのは嬉しい限りである。

有沢山荘 向月亭 菅田庵 平面図



菅田庵正面

さて松江を訪れた客を案内するに先ず南北市街を築ぐ松江大橋に立つて、東に程近く汽帆船の大橋川を航行するを指呼の間に、遙か遠く富士にも見まごう出雲富士の季峰を、西に廻周6軒の尖道湖を囲む連山と手近に見える嫁ヶ島は湖面に得も云われぬ風情を添え更に遠く石見三瓶山を望み、北方老松に包まれた松江城の背景には日本海の障壁をなす島根半島の連山が屏風の如くそびえている。

松江城はここから約1軒桜の名所として名高く、櫓等は無いが昔のままの石崖と濠が残り、5層の天守閣の雄姿は格別である。現在5ヶ年計画で解体修理工事を行い、今軸部組立に到る工程である。建物は東西21米82南北18米18高さ26米32あり構造材は松材を用い、各階の屋根と破風との構成による威容は小規模ながら卓越している。又基礎に受ける軸部の構造、柱を始め各階の梁軒先の構造、桐材を用いた階段の触感のよさ、凡ての兎瓦がその形を異にしている態など示唆を与えるものが多い。

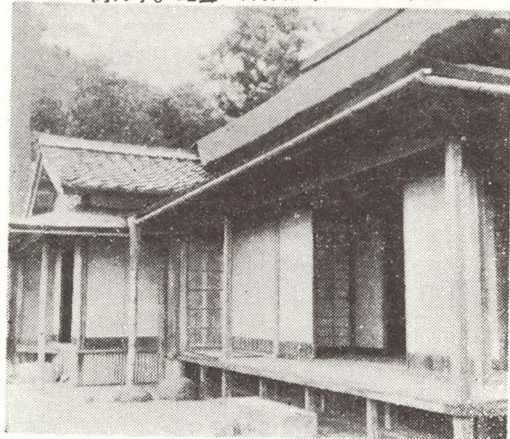
ここから徒歩10分にしてラフカディオ・ハーン（小泉八雲）の旧居及その記念館に到る。旧居は士族の家屋で、落着のある和室で三方の庭を賞でながら幾多の名文がものされている。記念館は緩い勾配の黒瓦葺白壁の建物で遺品や関係図書が蔵され、旧居と共に案内人によつて自由に参観が出来る。



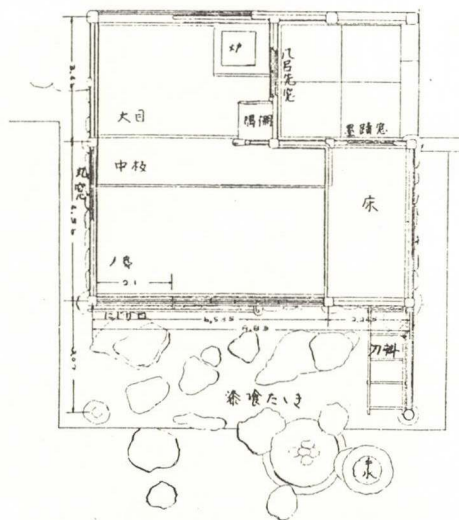
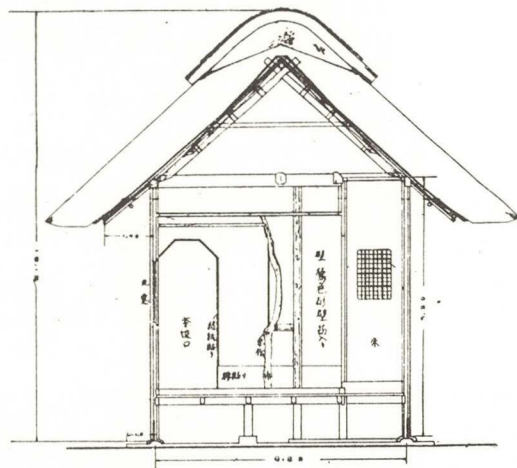
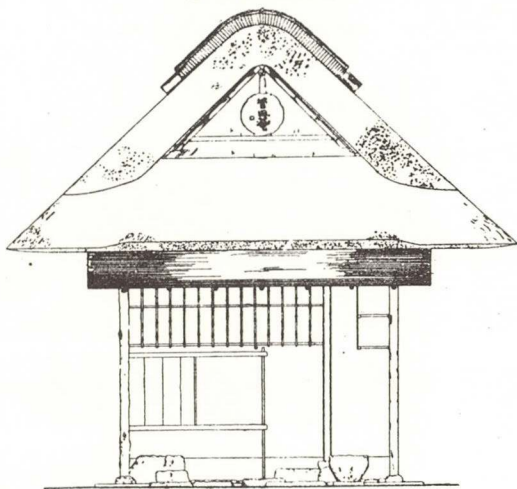
ここから約2軒郊外の菅田庵は寛政年間松平藩の家老有沢家の山荘に名君の誉れ高い藩主不昧公（治郷）の好みによつて営まれたもので、この一構は昭和3年史蹟及名勝地に昭和16年国宝に指定され昭和22年夏から根本修理にかかり昭和24年9月竣工を見たものである。国宝に指定されたのは菅田庵、向月亭及御風呂屋であつて、菅田庵の見学は山荘への通路約200米の山道を進めば風雅な寄棟の門に達する。門外で左に折れて有沢家の玄関に赴き案内を乞うのであるが、正しい通路はこの門を通つて楓の馬場、池に沿う道を右折して外露地にあたる苔むす坂道を上り御風呂屋と呼ぶ待合に到り、飛石伝いに10歩許り下つて菅田庵露地に達する順路で老樹の枝を交える間を経て庵に到るまでは幽邃閑寂の境から席に導く、露地と向月亭を建仁寺垣で割し中門をくぐり庭へ出ると快潤宏大な展望が現われる対比の効果により一層夫々の美しさを引立てている。向月亭の庭は低いさつきの刈込みに囲まれ、豆砂利を敷きつめた中に飛石を点綴し中央に短冊形の延段を配す、のべだんの両側は太い青竹で割して霰石を引締め庭全体の調子を強めている。ここからは庭前下方斜面に繁る檜椎等の樹木を平たく刈り込んで近景を之でさえぎり、遠く津田の松原、大橋川の舟楫を眺め、更に遠く出雲富士の秀峯を絵の如く望む処、全く絶景と申すべくこの庭は、端の方の手水鉢及燈籠の近く以外には一木一草もないのが一層引立たせている。

こうけつてい
向月亭 寄棟茅葺屋根に柿葺の廂を廻し主室は四帖半大目の席で鴨居上に雪川公（不昧公の舎弟）の筆になる向月亭の額が掲げられ、北面に床の間その西大目畳に炬を切り反対側に大きい簡明な袋戸棚と地袋がある。柱は面皮付凡て瀟灑な部材を以てし天井は杉鉦竿縁天井大目上は竹の縁で低く張り、腰の低い水板障子の外は矩折の入側で畳の外は小竹を並べた軽快な縁を巡らしている。襖は古色蒼然たる出雲和紙を用い、壁は孔雀の砂壁であるが少々堅い感がある。大目畳の背後は茶道口で水屋に続いて居り水屋は菅田庵と共用になつている。 ※

向月亭。瓦葺の部分にくつろぎの間



菅田庵設計図





「石に落書をする酔狂な者がいるのかね」とお考えの方はこれをよく読んで下さい。と云いたいのですが未だ研究中なのですが、広島県庁営繕課長古林氏から「落書石紋様とは中々面白いではないか、君一つ中間報告の気持ちでまとめてみないかね」と云はれましたのでここに大略を述べる事にし、結果は又次の機会にゆずる事にします。

1. 城郭沿革の大略

a. 広島城「百万一心」の旗がはためき中国地方一帯をなびかせた頃、毛利元就の子輝元は吉田城の交通不便なことを患い広く築城の勝地を択んでいたが、天正17年2月20日ついに意を決して吉田城を出発し広島五箇庄に来て今の国前寺に兵をとめ、二葉山、新山、及び己斐の松山等に登り附近の土地を見分し要害の可否を考えたが、現在の広島城跡は全く形勝の地であると決り終に城を移すことにし同年4月15日、家臣二宮信濃守（一説では父元就のめかけの子と伝えられる）を築城奉行として「鉄初ノ式」をあげ同年4月吉辰を卜して輝元は吉田城を出発し広島城に入城した。当時毛利輝元の封土120万石、陰陽両道8箇国に跨る一大国主となっていたが、併し関ヶ原合戦で豊臣方に味方し敗れたため慶長5年家康のた

め削封され長州萩に移された。輝元に代り同年福島正則は尾張清州より来広し芸備両国50万石の大々名であり、此地に居ること20年間其の間大いに城郭を修築したため徳川幕府の禁令武家法度（慶長20年）にふれ奥州津輕に改易を命ぜられた。元和5年8月浅野但馬守長晟は福島氏に代つて紀州より来て広島城に入り芸備42.6万石を領し子孫伝承すること12世、長敷に至るまで歴年253年間を

経て明治維新となった。

毛利輝元は豊臣秀吉の五大家老の一人でもあり又其の信任も非常に厚かつたため、広島城築城に関しては秀吉のふところ刀といわれた黒田如水の指揮をあおぎ其の縄張も又彼の計画にあづかつたもので、桃山時代初期の様式を持つた代表的平山城郭である。

築城こぼれ話に面白い事がいわれているのでこれもついでに述べてみよう。輝元はもともと現在の比治山々頂に城郭を築く心算であつたのに黒田如水のすすめにより現在の地に築城したのだが完成も近い或る日、如水が「これは高松城の様に水攻めに会う心配がある」と一人ごとを云つたのを輝元が聞き、彼は大変気分をくささせた、と云はれるがこの一説からして織豊戦国時代の世相らしい一片を表わしたものであると思わせる。併し其の真偽の程は不明である。

b. 福山城

大阪冬夏両陣に戦功を打ち立てた、水野勝成の築城になる江戸時代初期様式をもつ平山城である。彼は太田郡山に居たが関ヶ原役後徳川家康の命により、かつて福島正則の所領であつた備後神辺に元和年8月4日移封されたが、其の城（福島丹後守居城）が屢々落城の不幸のあることをきらい新城郭建設をおもひ立ち、自から山野を

※ 菅田庵 茅葺入母屋造、破風の菅田庵の陶製丸額は不昧公の筆で東正面に柿葺の上廂を設け、左寄りに「にじり口」右側の袖壁に刀掛、雨落近くに蹲踞を配してある。南面して洞床、松九太の中柱は中板上に立て一重の隅棚を設け窓は連子窓隅切の炉前に風炉先、洞床の墨蹟窓がある。亦洞床の正面对壁に丸下地窓が明けてある。天井は床の前棹縁天井大目上面皮付棹縁網代の落天井でせん細の感がある。壁は古風な青朱の砂壁の表面に長い莖を散らし珍らしい趣向のものである。（大きい室に用いても面白いと思われる。）

御風呂屋 待合として腰掛袴直しの間、浴室、脱衣の間及雪隠よりなる一棟で茅葺角屋造りの建物である。東北面に広い上廂を廻し背後の方に御風呂場とよぶ蒸風呂の構、流し場及焚口の土間等がある。土廂、飛石の配り、この附近の庭など実によく調和している、宗意の作

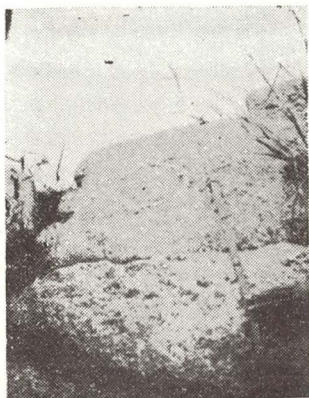
にかかると伝えられる。

この他山荘としての住宅は相当の規模のものであるがこの一帯の環境とこれら建物との調和が巧みに生かされているのは高く評価される所以である。尙この山荘と指呼の間に不昧公が有沢宗意の為に設計され屢々臨席した「明々庵」の茶席もある。この他小泉八雲旧居から程近き普門院の境内にも公開される相当の茶席がある。

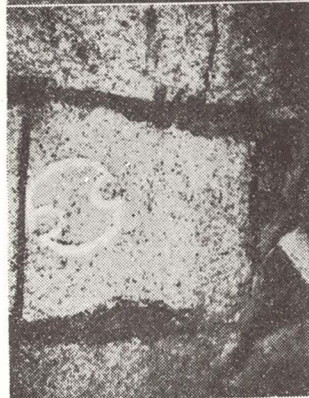
以上は松江を訪れて戴く方の為にもと拙なる稿を企てたものであるが特に菅田庵を主としたのは茶室建築のよさを仮令10坪の長屋にも亦宿直室にも取入れて狭い処にもこの機能とゆとりを味わう心構えの想を念願した所以でもある。

尙図面写真等貴重な資料を快く提供して下さいつた菅田庵工事監督に当たられた松本時男君に深謝する。

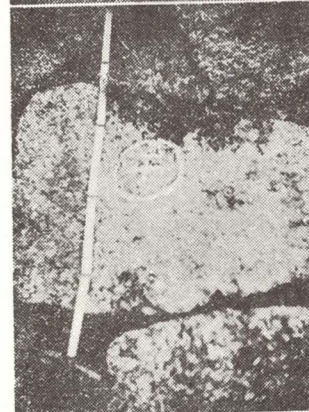
（筆者 鴻池組山陰出張所長）



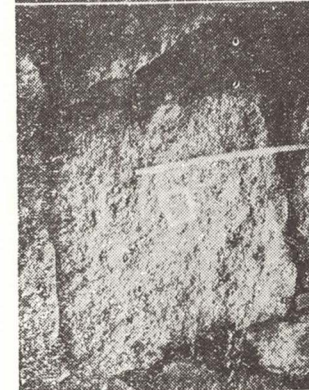
第一図
横一



第二図
分銅



第三図



第四図

上より

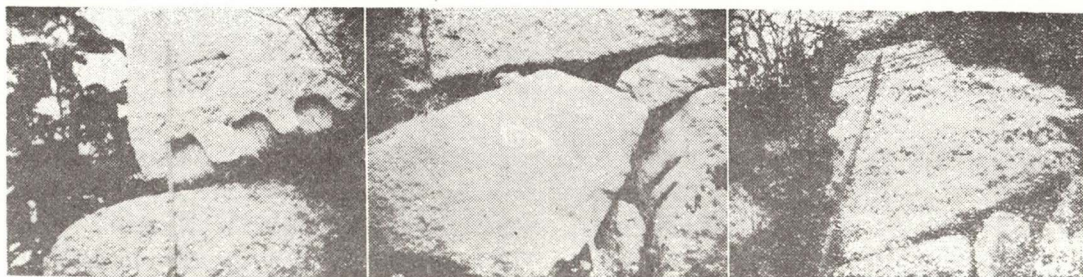


踏破し三ヶ所の予定地を得たが結局常興寺山を選び幕府の許可を得その地に築城する事に定めた。水野勝成は武勇の誉れも高く又千軍万馬の中で生れた様な実戦体験者でもあるため築城技術にも秀でた老巧なる軍学者であつた。彼は政治的手腕もあり、下情に良く通じ人心を上手にあやつる事の出来る人であつた、此の橋にあらゆる条件を具備した彼は本城の構築にも其の特技を生かし自己の理想するところの縄張で以つて実現した城郭である。当城は家臣山中重政を築城奉行とし、土工の名人と云はれた神谷治部に土工を命じ、元和6年「鉄初の式」をあげた、工事が初められるや彼は自から天神山の仮屋に出張し日夜工事監督をし常に陣頭指揮にあつた。又彼の外交的社交的手腕により幕府から石奉行として旗本戸川土佐守、花房志摩守の二人が築石工事に助力するために来て日夜其の労を共にした。併し彼の外交技術は將軍秀忠を動かし築城補助の意味により太閤の桃山、伏見城の遺構の大半を拝領した。即ち松の丸、三層櫓、櫛形櫓、月見櫓、鉄御門、大手門、多門、秀吉常住の殿館、御湯殿、堀 180間、能舞台、橋三基を解体し海路福山に撤入し再建した。此の間前後3ヶ年でさしもの大工事が完成した。

2. 城郭研究の動機と石紋様発見

さきに不動院梵鐘楼の実測に一段落つけ其の時の文献調査から秀吉大望の一端を知つた。即ち秀吉は当時明軍と戦つている我軍の戦況を敵島千景閣で受け軍議をこらし朝鮮出兵の計画が終れば馬を馳りて6里余の道を経て牛田町不動院まで来て、茶の湯をもよおしたと伝えられるが其の日常スケールの大きな事には心から感服する。広島城は天下統一を成しとげた秀吉の懐刀如水の縄張になることを知り、お城に対する面白味が心の底からわいて来た。それから本邦城郭に関する書籍を読みふけり次第に城郭に関心を持つ様になつた。又実際に城郭を手にかけてみたくなつたので目標物を手近な広島城ときめ敷地測量から建物復原までを計画してみると最少限5ヶ年間かかる事を知つた、それから広島城天守閣の実測を一人で始めたが何分にも城内の採光は悪く跳上戸も閉つていないことだし、加えるに戦時中のことだから外部実測は許可してもらつていないので主として室内を実測し又窓から外部の様子をみて外形の判定をすることにした。何しろ一人芝居の測量の事だから作業も思うにまかせず五層に至るまでは延べ10日位かかった。最後に天守閣最高部小屋裏実測が残つたのだがこれは最後迄実測出来なかつた。即ち長押にかけてあつた皇族方の写真のためであつた。当時の教育からして其の写真の上に足を置く事がどんなにしても出来なかつたので他の方策を考えたが何れも失敗してしまつた。そうして天井裏の実測量も断念してしまつたが其の後まもなく応召がかかり広島を出発した。広島は原子爆弾を受け灰燼に帰してしまい私の家も広島城実測図も全部焼けてしまつた。帰郷後荒れはてた広島城の一劃に立ち今一度広島城復原を發願した。これは再軍備に唱和し封建的象徴物の単なる復活を願つたものでもなく又戦時中私が実測した為の回顧の念からでもない。併しながら文化財保存の気持は多分に含んでいるが実に400余年間自然の風雪震雷の猛威にも負けず巍然と聳えていた広島城其のものの美術的、構造的要素のある力感が私をして倒壊後の今日も尙残された石垣や礎石にしがみつかせたのであらうと思はれる。

私が戦後実測を再開したのは広島県工に奉職した年、(昭和23年)



左より ⑤、⑥、⑦ 第五圖

扇 第六圖

三ツ輪 第七圖

の7月から25年8月頃迄の期間で建築科の生徒の手伝により内堀及外堀の実測を大略完成した。尙私は大阪城に石紋様があり武將の労働のあとをしのぶものとして残っていることを聞き知っていたので実測中も色々と気をくばり、広島城にもこれと同様な意味の石紋様が必ずあるだろうと思い実測中も注意をしていたのでした。即ち実測第2日目（昭和24年）8月夏休暇の測量実施中の或る日の事でした。来る日も来る日も毎日焼け付く様な天氣が続くのに生徒達は毎日熱心に測量をしてくれた。其の日も本丸の土手で風食をとり、つかれた手足をグンと力一杯伸ばし名も知らぬ草の中からギラギラ光る大空をみつめていると胸のあたりから生ぬるい汗が二すじ三すじ背中のほうに糸を引いて流れて行く、何となく夏も深まつた様に思わせた。其の間もつかれを知らない生徒等はトランジットを使い八丁堀の福屋屋上の方をみたり、野球場に向け其のプレートを眼鏡の中からのしんでいた。食事をすませた私もむせ返る様な夏草の中で午後の実測の計画を練り返してしまつたので、ボツクリ立ち上り生徒の雑談の中に溶け込んで昔物語をしているとき下界から一時のサイレンが鳴りひびいて来た。いくさ物語も打ち切り午後の実測予定地を見渡したが、此の日は何故か旧浅野泉西邸横の外堀隅し槽取こわ中の工事が特に気にかつたので真先に現地調査に行くことにした。この土盛のしてある土手の上部は土堀で高さ約1丈、厚さ1.5尺~2.0尺位で、各所に鉄包狭間及弓狭間を設け壁の表面白漆喰塗、一文字瓦葺の中にどつしりとしたものであつたが明治維新当時ときの藩主浅野長勲が外堀槽と共にこの土堀も自主的に取こわしたものである。下部の土盛も当時の新道路にかかるものは取りのぞかれ其の他のものが最近迄残っていたものだが、原爆後の都市計画のため外堀

全部の石垣をとりこわすことになつた。其の土盛の大きさは外部石垣積（城内からみて）で内部は勾配のゆるい土盛であつた。即ちグランドラインからみて下部12尺、上部武者走りは6尺、高さ8尺のもので、現地調査に行つた当時は土盛の2/3位まで取りくづしていた。天守閣が倒潰し残材も塩焼人に売りはらつた今日、せめて復原の手掛りになる何物かがほしくてたまらなかつた。併し五七桐、五三桐の模様のある巴瓦を手に入れていたので石紋様の出現を心待ちにしていたときでした。残土も石目に未だ練り付いている石を一つ二つと丁寧にみていると土表から6尺位の所に「三ツ輪」紋様がありました。もう事ここに至れば測量も一時中止だ、道具もあづけ午後には全員で石紋様調査に乗り出した。それから「丸に十の字」「鉄扇」「蛇の目」が発見された。翌日うれしさをかくして広島県庁の文化保護委員会の故中村氏に報告し工事係の石屋にも連絡し其の保存方を依頼した。そうして念の為エナメルを購入し石紋様を尋ね歩き14種類50余个を発見し全部エナメルでマークをした。又石膏を求めて其の実形をとつて廻つた戦が、時中の粗悪石膏であるためほとんどこわれてしまつた。又一方エナメルでマークをした石も県庁の役人のいいかげんなことのため、ほとんど市民グランド用石垣に使用され、初期計画である実物保存の約束は皆無となつた。併し本丸の一部には今尙昔時の儘の石垣が残されそこにも一部残されているのがせめてものなぐさみだと思つてあきらめる事にした。

3. 石紋様のもつ意義

1) 下級生活者のもつていた其の技術

現在地上から消えさつた建造物を復原する為には残された古瓦も、石垣も又其処に刻まれた石紋様も共に築城技術のなぞを解いてくれる大切な存在となつた。再実測

合資会社 大阪北区木幡町三番地 電話堀川⑨四一六四番	合理的工法・責任施工	防錆完全・中空防音	耐震・耐火・軽量・堅牢	採用下さい	は日進式を御	を・軽量鉄骨	に・軽量鉄骨	間仕切・天井

最高水準品・品質優秀

角一ゴムタイル 特種ゴム床材
角一ビニールタイル

（角一ゴムタイル総代理店）

株式会社 コマツ商会

大阪市北区梅ヶ枝町98・宇治電ビル前
電話堀川⑨1247番

を初めた当時は天守閣や表御門等の建築物全体の姿にばかりこだわり、その完成をと思っていたが、戦後色々な書籍を読みその感化を受け考え方も少しかわつて来た。即ち広島城にしてもなる程表向きは毛利輝元の築城で二宮信濃守が奉行の役を持ったのであるが、其の武将の下で実際に汗を流して、ほこりにまみれ不眠不休一生懸命に働いたのは誰であろうか、実質的には武将より士卒、庄屋より百姓、町人達である。又彼等は日常生活を如何にしてすごし、この大工事に各人は何の様な技術を持つてして工事完成へと血の汗を流したのであるか等々色々な下級階級技術者の歩んだ道と残されたその技術に対して考へ向つて行く様になつた。

2) 何故石に紋様を刻んだのであろうか。

次に考えさせるのは何故石垣に模様を刻んだのであろうか。又何を意味するものであるのか、工事担当者であつた武将のマークであるのか、其の事例として大阪城では「四角の中に丹の文字」は京極丹後守、「分銅」は堀尾忠晴、「蛇の目」は加藤忠広、「釘貫」は池田忠雄等々のものであると伝えられている。又労働力のない商人は寄附金として一定額の軍資金を労力にかえたのではないだろうか、又工事担当した職人と云はれた技術者のものではないだろうか、想像は想像を生み次第に進展して行くが、私としては先づ武将のものとしてのマークであると考えた。即ち武将の紋章を色々調査したが着物に付ける紋章には此の様な変つた紋章は何処にも見あたらない。併し最近になつて考えつたのが合戦絵巻物を調べてからの事であつた。その絵巻物にはあらゆる武将の戦場に於ける動作がみられるが、ヒントとなつたものは其の背中に差している旗差模様であつた、敵味方共遠方からでもすぐ判定の出来るこの旗差模様は多忙をきわめる工事場にも喜んで利用したものと思われるし又刻み

込むにしても簡単明瞭であり担当者の意図もみたされる事になる。その様にして各人は自己の工事区分の完成へと向つたものであろうと考えられる。

3) 石材産地と運搬

次に考えるのは石材の産地と其の運搬方法である。広島城絵図と現在残っている地名からしてみると、築城用材は何によらず其の大半は町を切り開いた西堂、竹屋の両運河によたものであろうし又嶋与部の石材も中々多く見受られ倒壊取こわし後の今日でも石材の表面に「かき」の附着している大きな石を多くみる。其の産地も南は佐伯郡五日市方面から北は安佐郡可部町方面にまで及び其の労力たるや実に莫大な数値になるであらうし、石切技術にも何かがあるがわれる。

4) 賃銀問題

次に考えられるのは賃銀問題である。主として土木作業に従事したと思はれる百姓の賃金、又技術者である大工、左官、石工、屋根工等の職人は各々何れ位の賃金で延べ何人位働いたのか等々の建築生産面の疑問が浮んで来た。

4. 結 語

これらをそれぞれ研究してみれば広島城を中心とした建築生産史的なものが生れて来るであらうし、又其の副産物として一般社会を形造つた平民の姿が建築的、経済的、風俗的にもかかわれて来るのである。現に広島を中心とした中国地方の民謡も広島城研究の副産物として私の手に集められた。此の様に考えてみれば6~6寸位の大きさしかない石紋様にも其の持つ意義は実に深大なるものとなつて眼前に浮び上つて来るのである。

尚福山城でみた石模様は「丸に大」「菱形松葉の中に川」の模様だつた。

(筆者 広島県皆実高等学校建築科勤務)

建設省告示第238号

建築基準法施行令(昭和25年政令第338号)第110条第2項第7号の規定に基づき、戸の両面が日本工業規格「建築用防火戸の構造及び試験方法」(TISA1303)に規定する外周用一級(DO1)又は外周用二級(DO2)の防火戸に該当する防火戸は同条同項第1号、第2号、第4号又は第5号に該当する構造の乙種防火戸、戸の屋外面のみが右の外周用一級(DO1)又は外周用二級(DO2)の防火戸に該当する防火戸は同条同項第3号又は第6号に該当する構造の乙種防火戸とそれぞれ同等以上の防火性能を有するものとして指定する。

昭和27年3月22日 建設大臣 野田 卯一

建設省告示第643号

建設技術研究補助金交付規則(昭和26年建設省令第12号)第4条の規定による昭和27年度の研究題目を次

のように定め、補助金の交付を受けようとする者を募集する

昭和27年5月20日 建設大臣 野田 卯一

1. 研究 題 目

1. 長期雨量計の改良。
2. 洪水調節堰堤における水圧の水門制水弁に関する研究。
3. 貯水池建設工事費の配分方式の経済学的研究。
4. 掃流土砂量の測定方法に関する調査研究。
5. 砂防堰堤にかかる応力分布の研究。
6. 鉄線蛇目の編方に関する研究。
7. 水位遠隔自記装置の適用試験。
8. 浸水時用流速計の試作研究。
9. 本邦主要道路の工学的土性図の作製。

(以下28頁に続く。)

建築材料としての有機硝子「アクリライト」

鈴木 広 好

最近建築新材料として使用される様になつた有機硝子は戦時中航空機用風防硝子として旧三菱化成工業株式会社が、大竹工場に其の製造工場を建設した。終戦後新光レイヨンは其の技術の研究と製造設備の改善により新用途の開拓と相俟て量産に伴ふ生産費の低価を計り「アクリライト」として市場に販出された。そして今日では各方面の需用が高まり家庭に身廻り用品に自動車に航空機に看板に総ゆるものに使用され其の特異の性質により建築資材としても盛に活用される様になつた。室内意匠は勿論家具什器に或は特種照明等に使用され無機硝子には味わえぬ独特の効果を發揮している「アクリライト」は無機硝子に比較して其の加工が容易で普通の台鋸で自由に切断も出来「ドリル」で孔明けも可能である又加熱して折曲げる事も出来る色硝子も好みのものが求められる紫外線の透過率も甚だ良く且つ破損する事が殆どない。然し缺点としては耐熱度に乏しく疵が付き易い為に高温の場所其の他取扱ひの乱暴な場所には使用する事が不適である。(疵は研磨する事によつて取れる)

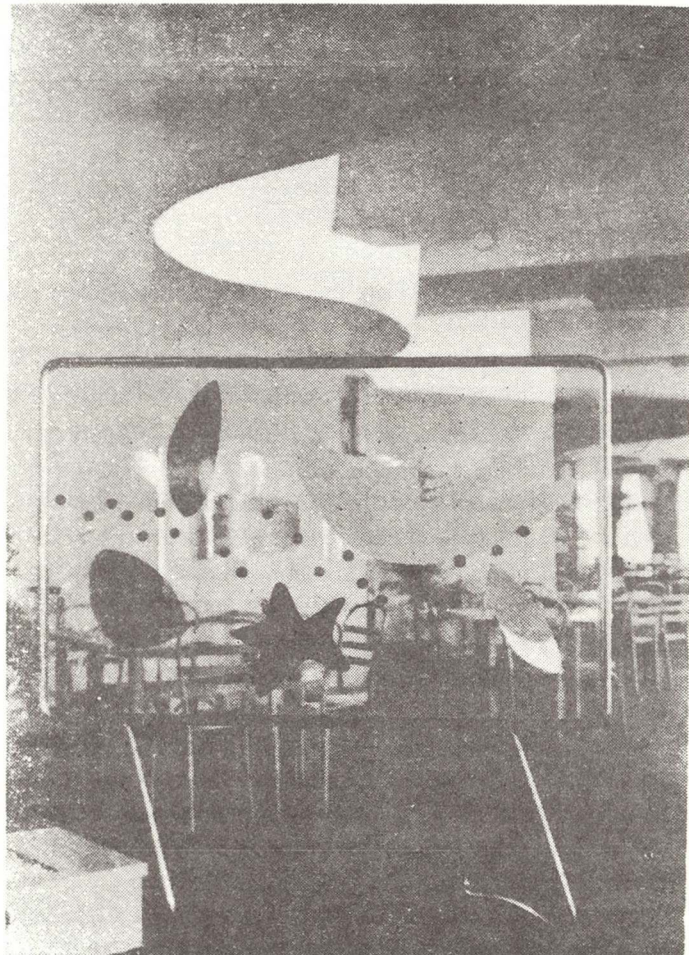
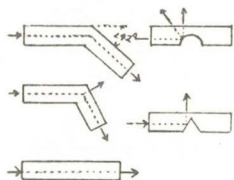
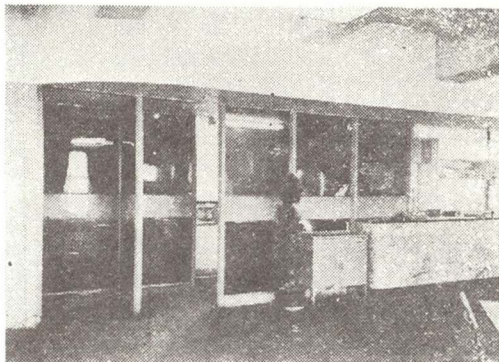
「アクリライト」はアセトンを主原料として之に青化ソーダ硫酸メタノール其の他の助剤を使つてメタクリル酸メチルエステルを合成し此の単量体(液体)に有機過酸化化合物等の重合促進剤を加えて特種強化硝子の型枠内に鑄込み種々の工程をへて最後に冷却脱枠の順序を踏で固体の重合体メタクリル酸樹脂(アクリライト)を製造する。アクリル樹脂板は凡て平板として生産され其の後に加熱して浪型其の他自由な曲面に製作されるものである。其の製造工程及アクリライトの物理的化學的性質は既に發表されているので省略してここでは其の加工及建築方面の使用に就て少しく私見を述べて見たい。今日市販されているアクリライトは最大1. M×2. M迄のもので之は鑄込みで使用される強化硝子(型枠)の大きさで製造設備に限定される故で将来は別として当分は以上のものは望まれないと思はれる。厚さは2. 3. 4. 5. 6 耗等最大20耗迄は生産されている色硝子は赤青黄紫乳白透明半透明網目等其の他色彩に就ては以上の様なものである。

アクリライトは其の性質上無機硝子に比して季節による膨脹率が高く為に建築に施工する場合は予め其の膨脹と歪みを考慮に入れて臨まれた方がよいと思はれる。例えば壁面等貼り付け使用の場合は気温差により膨脹する伸縮に相当する目地を明ける事が望しい目地押ヘジョイナー等使用の場合は別として底目等の施工にしても充分に膨脹に対する逃げ道を設ける事が必要である又表面の歪みを少なくする為には幾何か周囲を折り曲げて重箱型としたものを取付けた方が結果として良い様と思はれる。底目板にも「アクリライト」を使用して其の伸縮継手を取る事も良く色採の配合等考慮すれば面白い効果が揚げられる。何れにしても良く其の性質を理解して其の使途を決定すべきと思われる。普通平板は薄い程柔軟であるから大なるものほど表面の歪みが目立ち易く無機硝子の如き均等の平面は困難であるから或る程度の厚さのものを使用せねばならない。

間仕切等に使用する場合は浪型を使用する方が種々の面より結果として適切である。浪型に就ては硝子の継目とか枠との取付けに浪型なる故の困難があるが、片面浪型で片面平面の押板を作り両面より鉄皿「ビス」等で締付け取付けるも一方法と思う此の場合押板を金属で作つても又同様の「アクリライト」で作つても良く其の他にも猶一層良き取付け方法もある事と思う。浪型の「アクリライト」は屋根天窓用としても最適である。特に浪型スレートと葺き合せ使用する場合はスレートと重ねて「ドリル」で孔明けスレートと同様の施工で充分である。

普通天窓の場合の如く窓枠や雨押え等不用であつて然も雨漏や暴風にも安全である上に耐用度からも経済的である





其の他に就ても充分利用価値があるものと信ず。

「アクリライト」は其の缺点である耐熱度に乏しい故に反面加熱して加工するに便である例ば浪型アクリライトを製作するに平板を約10分温度170°位で加熱型押し冷却する事によつて簡単に造られるものである其の他、異型のものも同様の方法で造られる。又「アクリライト」は接着が自由である色硝子等の「サンドウィッチ」貼りも出来るし「ステンドグラス」の様に継ぎ貼りも自由である。以上の外に「アクリル」樹脂は光学的に均質で且光の透過率が極めて良く。又アクリル樹脂の光の屈曲率より算出された全反射角は42°であるから42°以上の場合は不適である此の様な樹脂の性質を応用して樹脂面に文字絵画等の彫刻を施せば其の部分の光線が脱去して輝く様になり彫刻の断面がV型の場合が一番強く光つて見え型ものは或方向に光つて見える事になる又光源に着色する事によつて新しい感覚を作る事が出来る。以上の性質を利用して「アクリライト」を「グラビールグラス」の如く彫刻して光線を用いる事によつて「グラビールグラス」とは変つた柔かい表現が出来るものである其の他玄関扉等に枠無しで一枚物の「アクリライト」を取付けてもよく又枠を取付け枠内に光源を入れて上記の効果を狙つても良く其の他同様方法として看板。「ネームプレート」等に使われて居る又箱型として内部に電球を使用して「ネオン」に変わるものも使用されて居る以上概略「アクリライト」に就て取纏めのつかぬ事を述べてみたが建築用に使用可能と思われる箇所は猶種々有る事と思はれる。同樹脂の性質及弱点等を考慮の上建築効果の良い用途を開拓し新材料の特性を遺憾なく発揮する為にも建築識者の賢明なる御判定と御示唆を賜はりたいものと思ひます。

以 上

(筆者 新光レーヨン大竹工場 営繕課長)

5. 建築物其の他木工各部分の木材量

区分	名称	摘要	木材形状・区分 積算単位	木材量(石)				木材量 (m^3/m^2 又は m^3/m)
				角又ハ 平角材	小割材	扱材	計	
小 屋 組	屋	3 間	梁間3間の場 合の上段中間 に敷梁(柱冠) 又は柱あるも のとする。 下段は一本梁 とす。	0.317 0.386	—	0.004	0.321 0.390	0.027 0.033
		4 間		0.384	—	0.005	0.389	0.033
		5 間		0.462	—	0.012	0.474	0.040
	洋 隔 小 尺	間 3 間		0.610	—	—	0.610	0.052
		4 間		0.570	—	—	0.570	0.048
		5 間		1.000	—	—	1.000	0.084
		6 間		0.790	—	—	0.790	0.067
		8 間		1.360	—	—	1.360	0.115
	屋	間 4 間		0.900	—	—	0.900	0.076
		隔 5 間		0.930	—	—	0.930	0.079
階 段	和 風	階高 1.5間	巾3尺×1間	1ヶ所 につき	—	厚板 0.443	0.131	0.160
		" 2 間	巾3尺×1.5間	"	—	" 1.100	0.202	0.362
外 壁 附 属 工 作 物	庇	投 庇		1 間に 付き	0.098	—	0.135	0.233
		霧除庇		"	—	0.009	0.041	0.050
	窓 格 子 ヒ ヂ 掛 手 摺	窓 格子	13角5寸間隔	1面坪 につき	—	0.168	—	0.168
		ヒヂ掛手摺		1間に 付き	0.045	0.066	0.069	0.180
	戸 袋	窓 用		1ヶ所	—	0.111	0.107	0.218
		椽側用		"	—	0.111	0.115	0.226
門	工場用(扉共)		巾10尺高10尺	1ヶ所	1.657	0.149	0.452	2.258
	仮 設(〃)		同 上 (竹矢来扉)	"	0.588	0.150	0.048	0.786
	簡易なる門		門柱5寸角	"	0.547	—	—	0.547
	〃(冠木なし)		" 4寸角	"	0.240	—	—	0.240
	〃(簡易なる 扉付き)		" 2.5寸角	"	0.056	0.017	0.016	0.089
物 境 界 柵	干 柵		高 8 尺	"	0.125	0.035	—	0.160
	柵 柵		柱間隔5尺	延1間に 付き	0.028	0.020	—	0.048
板 塀	3 分板張		高 6 尺	"	0.233	0.035	0.185	0.453
	4 分板張		"	"	0.233	0.054	0.217	0.504

板	アヤメ板張	高 4.5 尺	//	0.155	0.030	0.100	0.285	0.044
坪	//	土台付き	//	0.190	0.060	0.100	0.350	0.054

(註) 最右端欄は、メートル法の場合を示し、坪当り石の場合は m^2 当り m^3 、間当り石の場合は m 当り m^3 、1ヶ所当りは同じく1ヶ所に付き m^3 を示すものとす。

名 称	摘 要	単 位	木 材 (石)	単 位	木 材 (m^3)
台 所 棚	簡 易 な る も の	延 間	0.06	延m	0.009
// 釜戸台	簡 易 な る 住 宅 用	脚	0.30	脚	0.083
// 流し台	//	//	0.30	//	0.083
// 簀子板	//	面 坪	0.40	m^2	0.034
// 戸 棚		立方尺	0.04	m^3	0.40
事 務 机	引 出 付 2.5×3尺	脚	0.50	脚	0.14
脇 机	// 2.5×1.3尺	//	0.25	//	0.07
座 机	// 2.5×3尺	//	0.20	//	0.056
寝 台 { 一人用	3.3×6.6尺	台	0.60	台	0.166
{ 二人用	5.0×6.6尺	//	0.80	//	0.223
黒 板	ベニヤ板張 3×6尺	枚	0.15	枚	0.042
換 気 孔 { 床 下		ヶ所	0.01	ヶ所	0.003
{ 天 井		//	0.02	//	0.006
溜 樹 蓋 { 大	1.5 尺 角	枚	0.03	枚	0.009
{ 小	1.0 尺 角	//	0.01	//	0.003
溝 蓋	巾 1 尺	間	0.06	m	0.009

延坪当り木材石数 (単位 石/延坪)

建 物 の 用 途	軸 部	小 屋 組	屋根廻り	床 組	内 法	天 井	内外壁体	其 の 他
住 量 産 型	0.811	0.179	0.457	0.458	0.160	0.222	0.353	0.212
市 営	0.81~ 0.87	0.29~ 0.39	0.40~ 0.63	0.31~ 0.45	0.11~ 0.12	0.17~ 0.21	0.23~ 0.25	0.20~ 0.24
宅 分 譲	0.60~ 0.80	0.35~ 0.41	0.32~ 0.48	0.27~ 0.32	0.09~ 0.13	0.15~ 0.18	0.14~ 0.23	0.21~ 0.43
寄 宿 舎	0.60~ 0.80	0.35~ 0.40	0.40~ 0.45	0.30~ 0.40	0.10~ 0.13	0.18~ 0.20	0.23~ 0.25	0.25~ 0.35
事 務 所	0.50~ 0.80	0.60~ 0.90	0.40~ 0.60	0.30~ 0.50	0.06~ 0.10	0.16~ 0.20	0.35~ 1.00	0.15~ 0.40

学	平家建	0.50~ 0.60	0.80~ 0.90	0.40~ 0.90	0.50~ 0.60	0.10~ 0.20	0.30~ 0.40	0.20~ 0.30	0.30~ 0.40
校	二階建	0.60~ 0.95	0.45~ 0.65	0.25~ 0.30	0.80~ 1.10	0.10~ 0.15	0.15~ 0.35	0.25~ 0.40	0.20~ 0.30
病	舎	0.70~ 0.80	0.70~ 0.80	0.33~ 0.40	0.45~ 0.50	0.10~ 0.12	0.20~ 0.25	0.50~ 0.60	0.13~ 0.20
工	場	0.30~ 0.40	0.60~ 0.80	0.20~ 0.30	0.35~ 0.43	0.10~ 0.12	—	0.25~ 0.35	0.10~ 0.20
倉庫(少きもの)		0.60~ 0.70	0.80~ 0.90	0.50~ 0.60	—	0.03~ 0.05	—	0.50~ 0.60	0.20~ 0.30

特殊建築物の延坪当り木材量 (単位石/延坪)

市 場 ・ 浴 場	2.8~3.5	博 物 館 ・ 美 術 館	3.5~4.5
劇 場 ・ 映 画 館	3.3~4.5	銀 行 ・ 病 院	2.9~3.5
社 寺 ・ 教 会	4.0~5.0	車 庫	2.3~2.8

6. 木材の種別による使用百分率(%)

建 物 の 用 途	角 材	平 割 材	小 割 材	板(厚5分) 以 上	板(厚4分) 以 下	計		
住 宅	38	9	19	9	25	100		
店 舗	40	9	16	10	25	100		
寄 宿 舎	38	9	19	10	24	100		
倉 庫	37	12	4	15	32	100		
工 場	38	29	11	6	16	100		
事 務 所	41	10	15	19	15	100		
上 家	14	50	5	31	—	100		
ス タ デ オ 類	29	9	24	17	21	100		
板 塀	40	12	8	1	39	100		
門 及 門 扉	64	18	3	15	—	100		
建 物 の 用 途	板	小巾板	厚 板	正 割	平 割	区 角	平 角	計
工 場	16	2	4	2	9	38	29	100
寄 宿 舎	24	7	3	6	13	38	9	100
事 務 所	15	16	3	6	9	41	10	100

新たに学窓を出られた建築家に贈る

多年、螢雪の努力が結晶して、今日建築家として社会に単立れる諸君に対し、力強くその将来を祝福すると同時に、学窓を出てから四〇年に亘つて建築の業務に従事して来た筆者は、多年の経験と様々の研究から得た次の二つの言葉とその解説並に自作の歌謡曲とを贈りたい。

その一つは印度の哲学バラモンの言葉で「学問は良識に及ばず、故に悟性に求めよ」というのである。その意味は講義や書籍で学んだ学問はなかなかその身につかないことが多く、従つて急場に間に合わない。実際に直面し、苦勞した後に自ら悟つて真に自分の体中に取り入れた知識を良識というのであるが、この良識こそは実務に直面した時、常に出遇う種々のトラブルに対して真実に役立つもので、それは学問の比でない。尚人間には大小の差はあるが悟性というものを生れながらに受次いでいる、しかも悟性は鍛練や陶冶によつて発達育成せしめることが出来るものである。故にこの悟性を利用して益々良識を蓄えなければならぬという意味である。

世間、特に建築工事の現場では「学校出たばかりの技術家は何の役にも立たない、学校では何を教えているのか」というようなことを聞く。が、それはその筈である

学校出たばかりの技術者には学問はあつても、技術に対する良識を有たないから、直ぐには実務に役立たないのである。彼等が実務に直面し、苦勞した上に悟りによつて学問が良識に転換した時始めて一人前の技術家となり、部下や職工を指導して立派な建築物を完成せしめることが出来るのである。然るに、多くの新建築家のうちには、学校を出さえすれば最早一人前の技術家であるかの如く誤つて自任し、仕事場でこの大切な良識を得ようとしなないのが多い。そのために数多くの設計もし、立派な多くの建築工事に携つておつても更らに進歩も発展もしない、遂には途中からノックアウトせられて他に転ずるか、下積の技術者としてその一生を終えるものがかなり多い。又彼等の癖として世の不遇をかこつか、自己の不心得を棚に上げて罪を他に転嫁し、或は役にも立たない自己弁護をするのが一般である。

建築技術とは常に新しい建築構想を頭脳又は紙上その他に書き、その上、吾々の生きているこの世の中に一つの作品として現実に存在せしめることである。それで、建築に関する自然科学的な学問は勿論のこと、政治経済、芸術、宗教道德方面のものをも、必要なものは総べて良識としてその身体中

に蓄え、仕事に当らなければ決して優良な建築物は完成せられないと信ずる。

尚、悟るという仏教での言葉について附記しておきたい、この言葉は近頃の実存哲学でいう実存的思考と一致するもので、ただ觀念的に人間のありかたを考えると、理解するとかということではない。自己をいかなるものとして考え、自己の在り方を決断し、その行為の方向を決定する思考である。又、たんなる自覚でもない、更に自己がいかにあるべきかの存在性を決定する思考である。従つて悟るという実存的思考は内在的な行為といわれるのである。自己の在り方を決定し、現実を決断することによつて、自己を変革し、あるいは更新して、自己をそこに新しいものとして出発せしめることである。

次の一つは「努むるものは迷う。迷うが故に救われん」という詩聖ゲーテの言葉である。この言葉の意味は信仰に関するものであるが、吾々の仕事に関しても同様のことが言ひ得る。自分の天職として与えられた仕事には、全力を尽してその完成に努力せよ。然らばその間に沢山のトラブルや支障は起る、従つて幾多の疑問や迷も出て来るが、あらゆる情熱を以て努力すれば、凡てが最良の条件

渡 部 圭 吾



で解決されるという意味である。

吾国では、これまで学校を出さえすれば殆んど仕事のことについて学んだり勉強しようとするものが少かつた。却つて余技や趣味の方面にのみに異常な情熱を注ぎ込むものが多かつたように思う。体育のための運動、心気転換のための遊戯、本職の能率向上のために他山の石としての遊びや趣味を他に求めるのはよいが、本職を忘れてそれに没頭することは筆者としては肯定し兼ねる。そんなに好きなものなら、その方に本職を転換すべきだと考える。昔から「好きこそものの上手なれ」ということもあるから、自分の性格に適しないということを見出した場合には猶予なく転向すべきだと考える。又、時代は吾国でも封建時代から民主自由の時代に変革しつつある。各自がその性格や性能に応じて最も適した職業を撰職しなければならない、そして各々がその天分を育成して十二分にその能力を発揮しなければならない時代が既にやつて来ている。われわれが現に見た通り、一生一代業にやつて行けると考えられた富豪が路頭に迷つたり、国家の功労者、いかめしい位階勲等もつた数々の人が国家から見放されていることを目のあたりに見た。で、吾々は飽までも自己の天分をいかし、育て上げて各

自の人生を守らなければならない。かくするためにはその天分に合致した職業のために断えざる情熱を注ぎ込まなければならない。このこと吾々の活る最良のみちであると思う。何となれば身につけた技術的の機能は誰れからも奪いとられることがないからである。勿論このことは建築に関する職業人にも関係することではない。何んな職業人に対してもあてはまる生活の指針である。

「人間の頭脳は丁度ホテルのようなものだ」と米国のある科学者がいうてをつた。日々に学問や知識というお客様が出入するが素通りさすことが多い。然し、その主人が商売熱心に優れた頭脳の持主であつたら、ホテルの発展に資する客であつたり、その客に大きな感動を与えられたりする時には決して忘れないように記録する。かくしてそのホテルには向上発展のための機能を蓄えるのである。

最近の心理学の研究によれば、人間の肉体的健康は30代から次第に衰えるが、肉体的欠陥によつて頭脳を阻害することがなければ理解力や記憶力その他は訓練陶冶によつて向上発達させることが出来ることが確められた。その上一つの頭脳には何程でも多くの知識を同時に貯蓄することが出来る。しかし、一度蓄えたら決して消失し

ないような貯蓄方法は悟りによる良識としてでなければならない。自己の悟性を100パーセント活用しようするには、そのために最大の努力をする以外には方法がないのである。

吾国人絹の生み手で、故帝国人絹会長、偉大なる技術家、久村清太氏がよく言つておつた「真実の学問は工場内でなければ出来ない」と。このことは、実際に直面して悟りによつて良識を得たのでなければ直ちに技術に役立てることが出来ないという意味であつたと思う。

最後に結論として次の如く高らかに唱和したい。「真の学問即ち良識を得る道場は仕事場だ。そこで、あらゆる情熱を注ぎ、吾々は技のために精進し、不漸の勉強を続けよう」と。

第三番に贈る歌謡曲は筆者が数年前に作つたもので、興に乗じて唄い出し、多少は友人等にも迷惑をかけたものである。が、自分としては建建家としてのもたなければならない気分を唄つた積りであつた。今回家族の助けを得て作譜が出来たので、素人もので未熟なものであるが御批判を願う。

尚、音楽評論家吉村一夫先生にみて頂いたが、懇切な御注意御批評を賜つたことには深く深く感謝の意を表す次第である。

建 築 家 の 唄

渡部圭吾・作詩・作曲

とほ ちか び ら き ら
 よ る も ちか び ら き ら
 り 之 の なつ-つ め-め め
 く ら け み ね と り ら ち ち ら ち ち
 り う の し ゐ

施 工

設 計

著 述

家の建つのを 眺めてくらしや
 金もいらなきや よくもない
 今日の仕事は どんなにできた
 夜も 夢みる 建築家

図面ひろげて 思いをこらしや
 つづく 苦勞も きえてゆく
 明日の意匠は どんなにしか
 ひるも 夢みる 建築家

後の世までも われらが わざを
 するし のこそと まよ中までも
 ペンを 片手に しさくにふけりや
 ひとり ほほえむ 建築家

各 会 記 録 昭和26年度

(総会、評議員会、理事会、部会、各委員会)

通常総会 27年1月30日 大阪建設会館 出席21名
監事及評議員選挙の件(監事1名、評議員24名を選任した)
昭和25年度決算報告(承認) 昭和26年度予算(承認)

評議員会 第1回 26年11月27日 朝日ビル本会
事務所 出席委任状共43名。議案第1号 細則12条による昭和27年度評議員選出数決定の件(議決) 第2号 25年度決算の件(承認) 第3号 創立35周年記念事業の件(検討中) 第4号 常務理事再選の件(承認)

第2回 27年3月31日 朝日ビル事務所 出席委任状共50名 第1号 議長及副議長互選の件(推薦により議長に河合貞一郎氏、副議長に益尾辰雄氏を決定) 第2号 役員重任の件(承認) 第3号 会長、副会長及理事選任の件(会長、副会長各1名、理事14名選任した) 第4号 昭和27年度收支予算案(原案通り承認) 報告1. 創立35周年記念事業の件 2. 大阪府建築士会申出の件(事務室を本会に設置の件)

理事会 第1回 26年4月13日 大阪建設会館 会長外13名出席。定例日の件、会務分掌の件、申継事項検討、委員会構成の件、大阪商工会議所より申越の件、在ブラジル同胞日本科学後援会奨励金申請の件(会員詮衡建築と社会の在り方につき意見交換)。

第2回 5月9日 朝日ビル 中野主記代表外10名出席。各委員会委員委嘱、記念事業委員委嘱、常務理事任期満了につき重任、職員補欠並昇給の件、大阪府住宅復興促進協議会参加の件、会員詮衡。

第3回 5月14日 大阪建設会館 会長外12名出席 記念事業内容と会館問題の件、職員昇給の件。

第4回 6月21日 朝日ビル 東畑副会長外3名出席 工事請負約款頒布の件、朝日ビル冷暖房費負担の件、会員詮衡、職員退職の件、職員上半期賞与支給の件、5月分收支報告外諸報告。

第5回 7月11日 朝日ビル 東畑副会長外9名出席 朝日新聞申越の住宅展覧会の件、評議員辞任補欠の件、図書整理の件、出版委員委嘱の件、会員詮衡、市伊東局長桐本次長歓迎会の件、其他諸報告。

第6回 9月12日 朝日ビル 会長外9名出席。本会今後の方針検討の件。

第7回 10月24日 朝日ビル 東畑副会長外8名出席、第2回建築講習会開催の件、大阪府住宅復興促進協議会寄附の件、嘱託事務員解雇の件、旧日本建築士会解散に伴い四会連合工事請負規程発行善処の件、新建築士会設

立問題の件、会員詮衡、9月分会計外3件報告。

第8回 11月8日 朝日ビル 会長外8名出席、建築士国家試験存廃問題の件、工事請負約款計算承認の件、学会秋季大会後援の件、会員詮衡25年度会計検査終了、10月分会計其他諸報告。

第9回 12月12日 朝日ビル 会長外7名出席、事務所料値上の件、第2回建築講習会清算の件。工事請負約款第2回印刷費支出の件、職員下半期賞与の件、会員詮衡、11月分会計其他諸報告。

第10回 27年1月14日 ニューオーサカ 会長外16名出席 記念事業実行の件、総会開催の件、定例午鑑会開催の件

第11回 2月13日 朝日ビル 中野主事代表外9名出席。防火塗料講演会開催の件、防火建築に関する助成法案学会外共同建議の件、四会連合請負約款頒布法の件、工業高校優秀卒業生に対し表彰の件、会員詮衡、1月分会計其他諸報告。

第12回 3月12日 朝日ビル 東畑副会長外6名出席、防火建築促進陳情の件、評議員会開催の件、27年度予算編成の件、日本材料試験協会発起人承認の件、会員詮衡職員退職の件、関西建材会申越に係る事務員増の件、建材審査料割引の件、諸報告7件。

第13回 3月31日 東畑副会長外5名出席。松久保監事死去につき弔意の件。

都市不燃化促進連合会 4月31日 朝日ビル 渡辺幹事長外国会へ法案の提出促進の件。

5月5日と9日 分室 松井中沢外 同上検討。

23日 朝日 東京不燃化同盟と合同会合し今後連絡協調促進の件。

建材部会 26年4月4日 朝日ビル 池田会長外出席、総会及び事業の件、19日26日総会準備協議。

5月8日 朝日ビル 青木理事外出席、9月建材特輯号原稿の件、本年度事業の件。

6月14日16日及19日 関西建材幹事出席部会の進向方針協議。26日時局講演会開催。

2月5日及8日 朝日ビル 青木理事外出席、協会27年度理事推薦の件、協会未入会者勧誘の件、カタログ発行協力の件。

技術部と建材部会 26・4・19 朝日ビル 置塩建築事務所長外設計関係者と大同鑄造外建材関係者出席資材の動きに就き懇談。

技術と総合と建材部会 26・5・18 朝日ビル 技術部大阪建築事務所外6社、総合部大林組外2社、建材部11社出席 建材の近況を中心に意見交換。

7・13 朝日ビル 22名出席 最近建材の紹介と動向、其他意見交換。

10・18 朝日ビル 13名出席 最近建材につき意見交換

建材講習会開催打合せ。

1・19 分室 20名 建材につき意見交換。

建材審査委員会 26・7・6 朝日ビル 置塩委員長外8名出席、日本防水剤ウオータイトにつき中間報告。

10・5 朝日ビル 置塩委員長外6名出席、ウオータイトに品等証明発行の件、やよひ防火板ニューS型瓦新に申込の件。

11・10 朝日ビル 置塩委員長外16名、佐村木商店平安瓦、田島応用石綿ルーフィングとアスファルトタイル、大阪防水ウカ液防水剤ホワイト化学産業防火塗料につき委員分担を定め調査研究をなすことにした。

11・20 朝日ビル 竹内委員外出席、検討。

11・27 朝日ビル 布施委員外出席、検討。

12・1 朝日ビル 竹内主査外5名出席、審査後現場検分、12日再開平安瓦、ニュー瓦は結論得たが、タイル、ルーフィングは更に検討とした。

1・11 朝日ビル 置塩委員長外9名、サポート、朝日スレート新申込の件、平安、ニュー瓦両方審査決定の件。

2・8 分室 置塩委員長外6名、朝日スレート工場検分後、証明発行決定。

2・18 朝日ビル 置塩委員長外7名、磐城コンクリートのスレート、関西ペイントの防火塗料、ヤハズラスの新申込につき協議、田島応用アスファルトタイルは証明発行。

3・6 朝日ビル 置塩委員長外7名、イワキスレート工場検分後証明発行することに決定。

教育委員会 7・12 朝日ビル 井戸田委員外6名中沢誠一郎氏を委員長に選し、事業計画協議。

9・13 朝日ビル 中沢委員長外5名、第2回建築講習会開催の件、17日小委員会開き実行案を検討、21日総委員会開き具体案を得、26日講師打合会を開く。

1・22 朝日ビル 中沢委員長外5名、次回講習会の件。

災害委員会 26・6・2 朝日ビル 池田理事外出席、委員長に池田宮彦氏、幹事に津村重一氏を互選、地質調査表の件、其他協議。

6・19 津村幹事外6名出席、地質資料採集の件、地震風水害等予防対策常識の普及の件。

8・13 朝日ビル 池田委員長外出席、地震風水害と其対策の常識普及の件。

8・28 委員長外7名、同上原稿作成、大阪市PTA理事会に斡旋方交渉の件。

9・13 大阪市PTA理事会に池田理事外3名列席、災害防止常識の普及につき協力方依頼。

10・26 分室 委員長外4名、災害防止常識の普及方及地質調査表の集取方の件。

2・5 朝日ビル 委員長外4名、記念事業計画中に地質表出版提案の件。

会勢委員会 4・24 ヴォーリーズ氏設計大阪女子学院見学、参加10名。

5・22 旭ガラス尼崎工場見学、参加約60名。

6・9 日本経済新聞社と国際見本市会館見学参加者30余名。

6・16 分室 石井委員外8名、今後の事業会務発展につき協議。

7・27及28 六甲山頂貸別荘にて納涼会、23日夕刻第二陣登山夫々一夜を明し英気を養う、参加30余名。

7・24 中村真氏設計キャバレーハリウッド見学会 参加70余名。

9・18 竹中工務店施工中の産業会館基礎工事見学会参加70余名。

9・20 プラスチックに就て講演会、於建設会館、新光レーヨン稲垣氏より講演、出席50余名。

10・13 新光ランプの蛍光灯工場見学、参加40余名、後大倉学園講堂にて阪大浅田理學博士の蛍光灯に就て及人工降雨につき講演あり。

11・21 桂離宮、二条城、川島工場、修学院見学会、参加約60名。

12・18 竹中工務店施工中の第一生命ビル潜函工法見学会、参加約150名。

1・12 朝日ビル 石井委員外9名、2月以降の事業協議

1・14 大阪歌舞伎座視劇会、申込64名なれども70名を超え盛会。

2・14 潜函工法映写会、於警視庁クラブ参加107名。

2・16 菊正宗醸造場見学、参加30名。

3・18 日本油脂三国工場見学会 雨中40余名参加、製造工程と色彩調節された工場見学。

編集委員会 4・20 朝日ビル 白石理事外5名委員長に白石氏互選、定例日の件、委員委嘱の件、6月号編集の件。

4・26 朝日ビル 白石委員長外6名、1年間の企画を審議、6月はホテル特集とす。

5・9 朝日ビル 白石委員長外6名、6月号編集状態検討、及1年間の企画案の承認、7月号編集企画決定。

6・16 朝日ビル 白石委員長外7名、7月号編集検討、光安委員より改良意見白垣理事推賞、8月号企画決定。

7・14 朝日ビル 白石委員長外3名、8月号編集状態検討、9月号編集企画。

7・24 朝日ビル 白石委員長外8名、8月号印刷状態検討、9月号10月号11月号12月号企画。

8・4 朝日ビル 委員長外4名、8月号印刷状況、9月を建材号とし原稿、表紙色決定。

9・1 朝日ビル 委員長外4名 9月号印刷状況、10月原稿検討、11月号企画。

10・6 朝日ビル 委員長外3名 11月割付検討、12月執筆者追加、新年号企画。

11・2 朝日ビル 委員長外5名 11月印刷状況、12月原稿検討写真版の決定、2月の企画。

12・1 朝日ビル 委員長外出席 新年号の件。

12・22 朝日ビル 委員長外出席 2月以降の件。

1・24 朝日ビル 委員長外5名 2月以降方針。

2・28 朝日ビル 委員長外出席 4、5月企画。

3・11及15 朝日ビル 座談会開催記事資料を得た。

3・27 朝日ビル 委員長外出席、26年度委員として最後協議す。

編集と主計理事打合せ 9・1 広告に関する打合せをす。

出版委員会 7・20 奥山委員外6名、委員長に小林清氏互選、事業企画、法規索引作成の件。

8・7 朝日ビル 小林委員長外5名、法規索引原案検討、出版の件。

9・11 朝日ビル 委員長外4名、法規索引印刷の件。

9・21 朝日ビル 第二次計画の件。

10・9及23 朝日ビル 委員長外2名、索引発行経過並第二次計画協議。

11・13 朝日ビル 防水関係、16日昇降機関係、20日衛生暖房関係夫々集合、パンフレット発行の件協議。

12・20 朝日ビル 合成樹脂関係者執筆分担を定む、24日総委員会開催出版方針の件。

主記会 4・18 分室 中野理事外3名、分担其他協議。

5・2 朝日ビル 中野主記外4名、職員補欠の件、給与規定の件。

6・6 朝日ビル 浅沼理事外6名 理事会提案事項其他協議。

7・4 朝日ビル 青木理事外出席、朝日新聞と展覧会共催の件、1951年サイトカタログ購入の件、会員募集、事業企画の件。

1・24 分室 中野主記外3名、記念事業準備の件、関ベイ共催講演会開催の件。

住宅委員会 7・10 朝日ビル 岩本委員外5名、委員長に桐本氏幹事に津村、渡辺氏を互選、事業企画協議。

7・24 朝日ビル 新聞掲載の「家を建てる心得」案協議。

主記主計編集会 3・26 朝日ビル 日野理事外5名 27年度予算案作成。

建築法規委員会 2・6 朝日ビル 中沢誠一郎氏外5名、委員長に中沢氏を互選建築基準法に関し検討。

2・25 朝日ビル 委員長外出席、大阪府の改正条文原案討検。

顧問懇談会 6・15 朝日ビル 中西、中沢、簗中各顧問を中心に会長東畑副会長中野、藤木理事等、協会今後につき懇談。

第二回建築講習会 本会教育委員会企画の下10月17日より11月12日迄開催、受講者220名。

特殊構造規準に関する懇談会 12・5 朝日ビル基準法の追加政令案を学会、協会19名出席、検討せり。

午餐会 第1回 1.14 ニューオーサカ 赤松修氏外54名、会員相互の懇親を図るを目的とし盛会裡に終了。

第2回 2.7 ニューオーサカ 出席47名。

第3回 3.6 今橋クラブ 出席50名。

技術部門評議員有志懇談会 3・26 朝日ビル 松久保氏外4氏、役員問題につき懇談。

記念事業委員会 記念事業準備会 12・26 分室 浅沼理事外4名、基本事業企画案を協議。

1・10 会長外6名、事業基礎案協議。

2・9 見本市会館 会長外各役員、東畑記念事業委員長外各委員53名、事業遂行協力要望、経過報告、各部別委員委嘱、意見交換。

2・14 朝日 総務部会開催、趣意書、各部担当、予算等協議。

2・20 部長会開催 趣意書、予算検討各部分針協議。

2・26 出版部会 27日慰霊祭部会及住宅展部会を夫々開催し方針協議。

見学部会 3.3 朝日 松本部長外8名、企画協議 10日再開9名出席机上調査をなす。

講習部会 3.4 朝日 伊東部長外6名、地方巡回講習を企画、題材決定、11日分室、小委員会3名出席、内容取材を立案。

14日 朝日 本部会伊東部長外4名、内容案決定、執筆者定め開催地を協議せり。

祝賀部会 3.4 朝日 鈴木部長外6名、企画検討。

表彰部会 3.5 朝日 池田部長外3名、企画協議 17日城口副部長外4名、引続き検討。

慰霊祭部 3.28 朝日 中西部長外5名 挙式について万般準備を協議。

資金部会 3.10 朝日 東畑委員長外10名出席 打合せ協議す。

出版部会 3.10 朝日 尾崎部長外5名、カタログの件、地質調査表の件協議。

各支部 京都支部 4.6 支部事務所 松井支部長外出席 諸般協議 12日 水道会館 役員会開催の件 支部事務所移転の件、23日同所、総会、25年度決算、26年度予算、役員改選、事務所の件等。

5・26 水道会館、支部長外8名本部常務理事外出席、会務運行協議、支部嘱託と本部との連絡打合せをなす。

6・5及13・2・22日 4回共事務所常議員会、役員委員会 建築講習会開催の件(7月10日より開講となる)

6・9 京都駅、日銀鉄筋造見学、参加40名。

12・18 事務所 支部長外出席、講習会清算報告、今後の方針協議、後懇談会。

1・29 役員会 事務所、講習聴講者表彰其他。

3・19 事務所 支部長外本部より中野主記、常務理事列席、予算決算役員改選を決議後中野主記記念事業説明協力依頼。

兵庫支部 5・1 事務所 役員会 吉田支部長外及本部大和理事25年度決算及事業報告、26年度予算、総会開催の件、終つて歌劇見物。

5・25 宝塚歌劇場舞台装置見学会、引続き同所にて総会開催予算決算其他議決。

10・3 支部長外17名本部より東畑副会長常務理事列席、支部事業報告、後副会長より挨拶意見交換。

3・7 事務所、諸事項及記念事業講習会を姫路で開催の件。

和歌山支部 5・19 市役所会議室、役員会、島村副支部長外8名本部常務理事列席、25年度決算事業報告、26年予算、総会開催の件、其他。

6・2 商工会議所 総会、副支部長司会の下、決算予算等議了、ついで朝日新聞田中氏の時局講演会あり。

8・10及11 高野山見学兼納涼会開催、支部及本部30余名参加。

12・15 事務所 栗林、島村副支部長外、本部常務理事会合、明年度の各種打合せ、終つて懇親会。

2・2 事務所 島村、栗林副支部長兼本幹事外本部常務理事列席、発展策、集金法、経費等協議。

関西建材会 4・27 建設会館 毎日新聞神前氏の時局講演会、引続き総会開催、25年度決算及事業報告、26年予算及役員改選の件、終つて懇親会開催す。

講演会 5・14 建設会館 内田祥三、岸田日出刀、小林政一三博士を招じ会長司会の下開催、聴講約50名。

2・22 今橋クラブ 関西ペイントと共催にて防火塗料講演会開催、凡そ200名聴講あり。

其の他 6・20 大阪府住宅復興促進協議会創立於大手前会館、常務理事列席。

7・28 ニューオーサカ 大阪市建築局長に新任の伊東五郎氏及次長に榮進の桐本楠雅氏の歓迎会を建設業協会と共催、40名出席。

3・27 三越 プラスチック説明会、合成樹脂関係者と本会建材審査委員外有志が会合し意見交換す。

各会記録終り

建築技術研究補助金交付規則 (18頁より続く。)

10. 既設橋梁の耐荷荷重の測定方法。
11. 道路計画に関連する経済的諸要素の研究。
12. 有料道路制度に関する基本資料の作成。
13. 吊橋の旋着部及び接合部の設計基準の作成。
14. 熔接橋梁の設計施工法の標準指針の作成。
15. 建築工事におけるコンクリート工事の材料施工の改善合理化に関する研究。
16. 木造建物の防腐防蟻対策に関する研究。
17. 建築物各部の防火工法の経済に関する研究。
18. 鉄筋コンクリート壁体の耐力及び構造に関する研究。
19. 鉄骨、鉄筋コンクリート構造計算に関する実験的研究。
20. 研築物の不同沈下に関する研究。
21. 集団住居の設計基準並びに設備改善に関する研究
22. 建物の維持に関する研究。
23. 住居不良度判定に関する研究。
24. 給与住宅の事態に関する研究。
25. 工場公害に関する研究。
26. 港湾都市の都市計画及び地方計画的構成に関する研究。
27. 水没地その他公共用地取得に伴う集団補償の地方計画的処置に関する実証的研究。
28. 駅前広場の設計と費用負担率の基準に関する研究
29. 市街地の土地利用の構成に関する研究。
30. 大都市及び周辺都市の構成に関する研究。
31. 急速濾過池の洗滌方法の研究。
32. 野外天文測量用子午儀附属品の試作。
33. 一等水準標尺の試作。
34. 建設機械化施工の現場調査。
35. 建設機械部品の改良に関する研究。
36. 低圧タイヤに関する基礎的調査。

(以下32頁に続く。)

仕様書₁₂ 床₇ お忘れなく
ケントク ワックス を!

大阪 東區ガスビル裏 KKKケントク 電 北 廣(23)4905
東京 神田小川町1三勢ビル東 京ケントク 電 神 田(25)1364
名古屋 駅前泥江町2の1 KKKケントク 電 本 局(23)4578

会 務 (4月分)

定例午餐会

3日正午曾根崎スエヒロ本店にて参加者50余人別項の通り盛会終了。

技術部門臨時会

5日2時於朝日池田理事外5名出27年度事務分掌等打合せた。

編集委員会

12日2時朝日27年度第1回開催、岡田、中村、大倉、南、山本理事外委員、委員長を中村綱氏に互選、27年度編集方針協議

出版委員会

15日2時於朝日、小林、谷口、渡辺委員並管工部門須賀工業、斎藤久、第一工業、出席(1)衛生についてのパンフレット原稿作成再検討夫々執筆者を分担定めた、(2)防水について、原稿摘検討する事とし委員回覧申合せ(3)合成樹脂原稿検討済みとし小林委員長手許で割付して印刷進行する事とした。

和歌山支部役員会

16日4時同事務所で開催、栗林、島村副支部長外10余名予算決算、総会開催其他協議した。本部より大和常務理事列席、記念事業説明援助協力方依頼した。

理 事 会

21日正午於大阪建設会館新旧理事会開催。竹腰会長外24名出、26年度収支決算、剰余金処分承認、記念事業経過予算大要報告承認。加入団体、大阪府建築士会、並関西建材会事務所併置承認、定例日、事務分掌、主要道府県建築部処置陳情の件、評議員補欠に関する件、委員委嘱主記一任の件、会員証衛、事務局員昇給主記一任の件、諸報告等議事報告を了した。竹腰会長新旧理事に対し挨拶後歓談2時終了

講演と映画会

22日2時—6時於建設会館会勢委員会主催沖繩事情講演と映画会外60人來会。

会勢委員会

22日6時より建設会館開催、政岡委員外8名5月見学先及次年度委員長予選等協議大和理事既往御協力に感

謝の辞を述べ7時解散。

慰 靈 祭

26日1時半より中央公会堂3階で別項の通り式典挙行、遺族60余臨席会長、委員長外会員多数参列厳肅裡に4時終了した。

記念事業委員会

講 習 部 会

5日3時於朝日、日野委員外4名出テキスト原稿、開催地、講師等につき打合せた。

表 彰 部 会

18日3時於朝日、池田部長外3名、前回引き続き記念品外協議したが当日ストのため、決定は次に廻す事とした。

慰 靈 祭 部 会

24日2時於朝日中西部長外8名出、26日挙式当日の万般につき最終協議した。

住 宅 部 会

25日2時於朝日、河合貞一郎、伊丹久吉、岡本弘、井上福蔵、浅海治平、淡陶株式会社、塚本喜八郎各委員等9名敷地予選、進行方法等協議した。

講 習 打 合 会

5日正午鳥取県建築技師内田真義氏主事森岡則一氏來会、鳥取、米子講習開催万般打合せ、24日9時、松江市鴻池組出張所長飯塚源吉氏來会、松江に於ける講習会万般打合せた。

中国支部田坂幹事來会

24日午前來会、支部寄稿の中国地方雑誌原稿、持参編集事項並一般会務につき打合せた。

東海支部水野愛知県建築課長來会

24日午前分室來訪。市会が今次陳情した建築部処置の件につき善処方申出、又支部の事など懇談した。

大阪府建築士会理事会

3日2時於朝日本会事務所で開催、渡辺会長外出種々協議、事務所問題及当分事務応援方を日本建築協会事務局に依頼の件など議した。

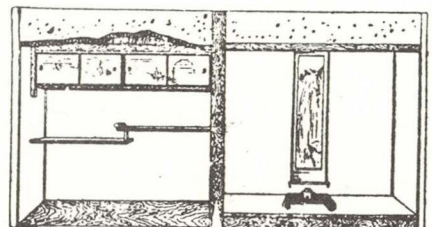
足場丸太も新設致しました

是非御用命を御待ち致して居ります

大阪市東区横堀六丁目二七番地
電話 船場 二四二五番

有限 古石床材店
会社

敷材板ま院栗椽
座廻井ん
床天ら書名竹



建設技術研究補助金交付規則(23頁より続く。)

37. 建設機械用トルクコンバーターに関する研究。
38. 建設機械の耐久度の調査。
39. 建設機械の履帯に関する研究。
40. 建設機械の磨耗物の熔接に関する研究。
41. ドラグバケットに関する研究。
42. コンクリート振動機の実験的研究。
43. 公共建設事業の経済効果測定法の実証研究。
44. プレストレストコンクリート梁の剛法度に関する実験的研究。

45. AEコンクリートの施工法に関する研究。
46. 軟弱地盤の処理に関する研究。
47. 九州地方における火山灰土質路床土の安定工法。
48. 原価計算方式に基づく工事管理の研究。
2. 申請書提出期日。昭和27年6月10日
3. 申請手続。昭和26年5月7日建設省令第12号。建設技術研究補助金交付規則(同日付官報掲載)参照。
4. 申請書提出先。東京都千代田区霞ヶ関、建設省管理局企画課。
5. その他。1. 研究題目の内数個の小題目に分れているものは、その内1又は2以上を適宜選択して申請することを妨げない。2. 研究内容は概略を記してあるが更に詳細について疑問のある場合は、その提出先に問い合わされたい。(官報5月20日転載) 以上

編集後記

本号より27年度編集委員会の企画となり、前委員長の白石博三氏より新委員長の中村綱氏に引き継がれた。そして此の号は沖繩の基地建設工事の記事と広島地方特集編として御原稿を頂いたが、沖繩関係のみ米軍々事基地の故に情報問題に振れてはと考え関係方面で調べている為め、甚だ御執筆者に恐縮乍ら次号に延まして頂いた。依て此の号は広島地方編と26年度の会務記録を掲載して止めた。尚お其の次の企画は都市不燃化に就て紙面を飾り度いとそれぞれに準備された。

建築と社会
第33輯 第6号

売価 1部80円(送料共)

昭和27年5月25日印刷・昭和27年6月1日発行

編集発行人 沖田 誠 一

発行所 社団法人 日本建築協会
大阪市北区中ノ島3ノ3朝日ビル
電話 北浜 21334~9 番
振替口座 大阪 39975 番

大阪市 北区 堂山町 6 6
印刷者 網野 栄
大阪市 北区 堂山町 6 6
印刷所 株式会社研文社 電話 西崎 2556 番

「新日本工業デザイン」振興運動

=デザイン懸賞募集要項=

募集規定 入選作品の著作権は参加会社に帰属、作品は課題の趣旨と機能条件に基いた美的なもので、模倣をさけ創作未発表のものに限る。応募は設計図(投影図、縮尺の場合は尺度明記)および透視図(彩色外観図のほか構造見取図)の二種製作、用紙はA0-A3セント紙または画用紙使用、材料およびその指定あるいは希望要項を別紙(四百字詰三枚程度に明記添附。外形試作品の可能なるものは送附または写真添附。応募は協同製作も可。作品には必ず課題商品名、会社名明記。入選外作品使用の場合は応募者に照会。返送希望のものは、送料応募者負担。

表彰

推薦……………1名 {賞状 通産大臣
(賞金百万円 毎日新聞社)

入選……………11名 {賞状 工業技術庁長官
(賞金各五万円 毎日新聞社)

(ただし審査は課題別に一点を選び、そのうちの優秀作品1点を推薦とし、他を入選作品とす)

▽募集締切6月30日

▽入賞、入選発表 7月下旬

▽作品送附先 東京都千代田区有楽町1ノ11毎日新聞社事業部工業デザイン振興運動係宛

▽課題商品の詳細は参加会社工業デザイン係へ照会の

こと。

審査員(敬称略、順次不同)

▽工業技術庁長官井上春成▽工業指導所長松崎福三郎
▽東大工学部教授岸田日出刀▽同助教教授丹下健三▽東京工大教授谷口吉郎▽千葉大工学部教授小池新二
▽新制作協会猪熊弦一郎▽工芸指導所技術部長剣持勇▽評論家浦松佐美太郎▽東京芸大教授吉田五十八
▽大阪市立工業研究技師大島敬治▽京都工芸繊維大学教授向井寛三郎

(機械工学、化学工学、電気工学等については別に専門委員をもつて審査に当る)

▽顧問 日本商工会議所会頭藤山愛一郎

経済団体連合会長石川一郎

在日米国商業会議所会頭スターリング・W・フィツシャー

主催 毎日新聞社・英文毎日

後援 通産省・日本商工会議所

本協会も此の振興運動に賛意を表すると共に会員諸氏の御応募を御進めする。尚お詳細は毎日新聞社に問合せられ度し。

日本建築協会

建材価格表

① 防水剤

		円
クイックウォータイト	1立	70—
ウォータイトB号	〃	70—
ウカ特号 特別急結	〃	300—
ウカー号 急結及防水用	〃	150—
ウカ二号 強度増進用	〃	120—
ウカ三号 仕上層用	〃	120—
TY液	〃	100— (容器共)
ロータス (粉末)		950— (40ポンド袋入)
クイクッスロータス	1,500—	(18立糺入)
シーカー		200— (1k)
シーカー 急結用		350— (1k)
ダイニチ一号		100— (容器共)
ダイニチ二号		100— (〃)
ダイニチ三号 急結用		120— (〃)
ニッポン		85— (〃)
ニッポン一号 急結用		140— (〃)
ニッポン二号 急結用		140— (〃)
シフカーA号 湧水漏水止		112— (18立樽詰)
シフカーB号 急結用		77.80 (〃 〃)
シフカーC号 上塗		83.30 (〃 〃)
シフカーB ₂ 号 防凍用		61.20 (36立樽詰)
シフカーB ₃ 号 増強用		61.20 (〃 〃)
シンケン		70—
シンケン 急結用		80—
ヒーロー		90—
ヒーロー 急結用		140—
ブルタイト 急結用		70—
ブルタイト粉末		130— (50ポンドケース入)
不二液		70—
不二液 急結用		80—
アイガスバテ		350— (1k)

② 防水工事

防水剤名	工事業者名	地下室地下道暗渠		陸屋根底給水槽	
		二層 平米 当り	三層 平米 当り	二層 平米 当り	三層 平米 当り
ウォータイト	日本セメント防水剤製造所	185	195	185	195
ウカ	大阪防水建設社	250	280	230	250
TY	TY 防水工業	260	280	210	250
ロータス	関城化学工業所	200	250	200	250
シーカー	海外通商シーカー部	—	180	230	—
ダイニチ	大日特殊建材工業所	250	300	200	250

ニッポン	黒川化学工業所	250	300	200	250
シフカー	シフカー工業所	200	245	220	265
ヒーロー	ヒーロー化学工業所	250	300	275	—

③ アスファルト

	円
0—10ストレート	18,000—1 $\frac{1}{2}$ 当り
10—30 〃 }	17,300—
30—60 〃 }	
60—100 〃 }	18,800—
100—800 〃 }	
0—5甲ブローレ	32,800
5—10 〃	30,800
10—20 〃	23,800—
20—30 〃	
30—40 〃	
10—20乙ブローレ }	20,000—
20—30 〃 }	

10 $\frac{1}{2}$ 以上省線レール渡シ

④ アスファルト防水工事

(第一仕様) 大阪市内一回施工300平米標準

- (1) アスファルトプライマー 平米付 0.3立
- (2) 日本石油乙ブロウン15° 〃 1.2キロ
- (3) アスファルトフェルト 20キロモノ
- (4) 日本石油乙ブロウン15° 1.5キロ
- (5) アスファルトルーフィング 22キロモノ
- (6) 日本石油乙ブロウン15° 1.2キロ

計 280 $\frac{1}{2}$ 円

(第二仕様)

- (1) アスファルトプライマー 0.3立
- (2) 日本石油ブロウン 1.2キロ
- (3) アスファルトフェルト 20キロモノ
- (4) 日本石油甲ブロウン25° 1.5キロ
- (5) ルーフィング 22キロモノ
- (6) 日本石油甲ブロウン25° 1.5キロ
- (7) ルーフィング 22キロモノ
- (8) 日本石油ブロウン25° 1.2キロ

計 430 $\frac{1}{2}$ 円

(第三仕様)

- (1) プライマー
- (2) 日本石油甲ブロウン25° 1.2キロ流シツ、
- (3) フェルト 20キロ
- (4) 日本石油甲ブロウン25° 1.2キロ刷毛塗
- (5) 日本石油 1.2キロ流シツ、
- (6) ヘジャンクロッス 8オンスモノ
- (7) 日本石油ブロウン25° 1.2キロ刷毛塗
- (8) 〃 〃 〃 流シツ、
- (9) ルーフィング 22キロ

建材価格表

(10) 日本石油甲ブロンズ25°

1.2キロ刷毛塗

計 670—

⑤ セメント

	卸売トン当	小売(袋)
ポートランドセメント	8,800円	500円
白色ポートランドセメント	16,000	900
早強ポートランドセメント	10,000	600
高炉セメント	8,600	500

⑥ 厚型スレート

灰色平瓦	工場渡シ	一枚ニツキ 円
役物	二重棟瓦	// 45—
	巴瓦 大	// 45—
	// 中	// 35—
	// 小	// 28—
	雪止瓦	// 35—
	ノシ瓦	// 25—
	軒先瓦	// 35—
	ケラバ瓦	// 35—
	重箱瓦	// 45—
	三ツ又瓦	// 330—
色物一部〜二割増		
葺上工事		一坪ニツキ
灰白色(下敷井)		1,250—
葺上工事ハ大阪市並ニ近郊		

⑦ 石綿煙突

長さ六尺	内径三吋	工場渡シ一本ニツキ 円
	三吋半	135—
	四吋	150—
	四吋半	225—
	五吋	262—
	六吋	390—
	七吋	450—
	八吋	600—
		1,050—
継手バンドバックシン付		
	三吋	24—
	三吋半	29—
	四吋	33.50
	四吋半	44.90
	五吋	53—
	六吋	65—
	七吋	100—
	八吋	160—
	十吋	210—

陣笠金具共

三吋	56—
三吋半	61—
四吋	68—
四吋半	78—
五吋	90—
六吋	110—
七吋	145—
八吋	185—
十吋	240—

⑧ 石綿スレート

浪型	A 6	工場渡シ	一枚ニツキ
//	A 7	//	460—
//	A 8	//	540—
//	高圧特製 A 6	//	650—
//	// A 7	//	500—
//	// A 8	//	580—
小平板	五耗	//	680—
山棟	三尺	//	40—
巴		//	150—
垂ケラバ	六尺	//	150—
隅スレート	六尺	//	300—
葺上工事			250—
木骨母屋	A品		一坪ニツキ
//	高圧特製品		1,550—
鉄骨	A品		1,800—
//	高圧特製品		1,650—
小平板			1,900—
葺上工事ハ大阪市並近郊			1,400—

⑨ スカイライト

(網入鋼板硝子2'×3'使用)

種 類 硝子屋根 平方尺	木 骨 装 置		鉄 骨 装 置	
	亜鉛鍍 鉄板製	銅板製	亜鉛鍍 鉄板製	銅板製
2' 前後	330	410	440	530
100' 以下	290	370	400	490
200 "	280	360	390	480
200 以上	270	350	380	470

上記単価は大阪市内及近郊とし地方出張取付の場合は1割〜1.5割増

網入硝子以外の硝子使用の場合は差額だけ加減します。

⑩ 塗 料

建材価格表

値段(1ヶ)

ケントク白木用ワックス	1/2ポンド罐	290—
〃	1 〃 〃	490—
〃	5 〃 〃	2,200—
〃	1 斗 〃	9,900—
ケントクポリッシュワックス	1/2ポンド罐	290—
〃	1 〃 〃	490—
〃	5 〃 〃	2,200—
〃	1 斗 〃	9,900—
ケントク液体床ワックス	1 升 罐	630—
〃	1 斗 罐	4,900—
ケントクレカワックス	5ポンド罐	1,100—
〃	1 斗 罐	6,500—
ケントクフロアポリシュ	1 升 〃	630—
〃	1 斗 〃	4,900—
ケントクフロアオイルA	1 升 〃	490—
〃	〃 1 斗 〃	3,300—
〃	C 1 升 〃	450—
〃	〃 1 斗 〃	2,900—
〃	K 1 斗 〃	2,000—

⑪ 日本瓦

産地	銀黒色粘土焼		日本型瓦		大阪店頭渡し	
	淡路産		明石産		三河産	
等級	1等	2等	1等	2等	1等	2等
品名	1等	2等	1等	2等	1等	2等
引掛棧瓦	14—	13—	19—	18—	22—	21—
唐瓦	28—	26—	38—	36—	—	—
万十唐草	35—	33—	57—	54—	44—	42—
袖瓦	28—	26—	47.50	45—	44—	42—
袖角	42—	39—	76—	72—	66—	62—
一文字	42—	39—	57—	54—	86—	82—
〃角	84—	78—	114—	108—	110—	102—
熨斗	13—	12—	17—	16.20	—	—
厚熨斗	15—	14—	19—	18—	20—	19—
紐丸	22—	20—	38—	36—	33—	31—
冠	25—	23—	38—	36—	33—	31—
棟鬼5寸	150—	—	200—	—	250—	—
〃6寸	240—	—	240—	—	300—	—
〃7寸	300—	—	350—	—	420—	—
葺渡100坪以上	1,300—	1,200—	1,850—	1,750—	1,950—	1,850—
切妻50坪以上	1,400—	1,300—	1,950—	1,850—	2,100—	2,000—
〃30坪以上	1,500—	1,400—	2,000—	1,900—	2,200—	2,100—

⑫ 洋瓦

瓦種別	色合	概算坪当単価	
		100坪迄	200坪以上
東洋トンネル窯製 フレンチ瓦	釉薬 光褐色	2,000—	1,850—
	〃 緑色	3,700—	3,500—
	〃 青緑色	3,900—	3,700—
東洋S型瓦	塩焼 赤褐色	2,600—	2,300—
	釉薬 緑色	4,400—	4,200—
	〃 青緑色	4,600—	4,400—
東洋日本型瓦	赤褐色	2,200—	1,950—
	緑色	4,400—	4,200—
	青緑色	4,600—	4,400—
東洋スパニッシュ 瓦	赤褐色	3,800—	3,500—
	緑色	5,500—	5,400—
	青緑色	5,700—	5,600—

1. 価格は何れも三河産一等品
2. 二等品は一割引見当
3. 屋根様式並に建築場所により価格の相違あり
4. 所要枚数(坪当) フレンチ瓦50枚
S型瓦 60枚
日本型瓦 64枚
5. 東洋々瓦大阪天王寺倉庫渡しとす

種別	赤褐色	釉薬 光褐色		釉薬 緑色		釉薬 青緑色	
		1等品	2等品	1等品	2等品	1等品	2等品
品名	等級	1等品	2等品	1等品	2等品	1等品	2等品
フレンチ型	棧瓦	35	33	35	31	48	44
	半瓦	30		30		35	
	破風瓦	65	55	75	55	45	100
	破風角	90	80	150	80	130	140
	棟瓦	90	80	100	80	130	140
	棟跨	160	150	160	150	250	270
	棟下り止	120	110	150	110	230	230
	棟三ッ又	250	180	350	180	400	400
	酉戸ノシ	15	12	15	12	25	30
	〃	35	32			50	45
S型	半瓦	32				45	50
	袖瓦	65				100	120
	六寸瓦	55	50			100	120
	六寸瓦巴	120				220	240
	六寸下り止	120				220	240
	Sトンビ	130				220	240
	六寸三ッ又	250				400	450
	七寸丸	75	60			130	140
	七寸丸巴	150				260	280
	七寸下り止	150				260	280
型	七寸三ッ又	250				500	500

建材価格表

日本型	引掛棧瓦	23	21		47	44	50	47
	万十唐草	45	40		100		110	
	伊勢袖瓦	44	40		100		110	
	万十袖角	88			150		160	
	万十トンビ	130			220		250	
	厚のし瓦	22	20		45		45	
	五寸紐丸	36	32		70		80	
	五寸丸巴	90			150		160	
	五寸足付鬼	250			350		400	
	五寸据鬼	170			240		300	

⑬ 建築金物

品名	種別寸法	単位	価格
丸 釘	60キロ 1"	樽	3,800
"	" 1¼"	"	3,700
"	" 1½"	"	3,600
"	" 1¾"	"	3,500
"	" 2"	"	3,400
"	" 2½"	"	3,370
"	" 3"	"	3,340
"	" 3½"	"	3,310
"	" 4" 5" 6"	"	3,270
亜鉛引鉄板	3尺×6尺 #31	枚	345
"	" #30	"	375
"	" #28	"	485
"	" #26	"	565
亜鉛引波板	2.5×6 #31	"	285
"	" #30	枚	315
"	" #28	"	395
亜鉛引鉄線	50キロ #20	"	3,850
"	" #18	巻	3,650
"	" #16	"	3,500
"	" #14	"	3,300
"	" #12	"	3,200
"	" #10	"	3,100
"	" #8	"	3,000
生シ鉄線	#8 100キロ	"	5,500
"	#10	"	5,700
"	#20	"	6,500
鉄条網 25キロ	#14	巻	1,800
ワイヤーロープ	9N/M×200m	"	18,000
24本 6燃	10" ×200	"	20,000
"	12" ×200	"	28,500
"	16" ×200	"	44,500
尺 尺			
メタルラス2×6	240匁付	坪	80
"	300"	"	95
"	390"	"	130
"	450"	"	180

リプラス 2×6	#28×¾"	坪	650
"	#26×¾"	"	700
" 3×6	#28×¾"	"	1,350
"	#26×¾"	"	1,500
ワイヤーラス 6尺×12尺	#21×¼"	坪	60
"	#20×1¼"	"	75
"	#18×1½"	"	115
力 骨 6尺	#10	本	7
"	#12	"	5
菱 形 網	#14×1½"	平方尺	13
"	#12×2"	"	18
ク リ ン プ 網	#15×½"	平方尺	35
"	#13×¾"	"	40
ス ラ ー プ ル	#18×¾"	貫	320
"	#12×1½"	"	280
亜鉛引織網 3尺×100尺	#20×¼"	巻	4,500
"	#19×⅝"	"	4,500
"	#18×¾"	"	4,000
亜鉛引亀甲網 3尺×100尺	#24×½"	巻	1,100
"	#23×⅝"	"	1,000
"	#23×¾"	"	900
"	#22×1"	"	800
"	#22×1¼"	"	700
"	#21×1½"	"	650
防虫縄3尺×100尺	青塗 14回	巻	2,700
"	" 16"	"	3,200
"	" 16"	"	10,000

⑭ 板硝子

品名	品等	一面入枚数	卸売価格
透 明 2 耗 並 厚	普通品	17~103	3,100
損 "	"	"	3,400
透 明 3 耗 厚	"	4~6	8,800
"	"	7~16	6,700
"	"	17~26	5,200
"	"	27~以下	5,000
透 明 5 耗 厚	"	4~6	18,500
"	"	7~16	15,000
"	"	17~26	12,400
"	"	27~以下	11,000
薄 型 板	"	17~103	3,400
厚 型 板	"	4~17	7,200
縞 型 板	"	4~17	9,200
網 入 縞 板	"	"	16,700
磨 硝 子 厚 3 耗	標準品	4~6	352
"	"	7~17	304
"	"	18~39	248
"	"	40~49	234

建材価格表

〃	〃	50～75	198
〃	〃	76～103	137
〃	〃	104以下	194
磨硝子厚5.6耗	〃	4～6	390
〃	〃	7～17	342
〃	〃	18～39	277
〃	〃	40～49	239
〃	〃	50～75	224
〃	〃	76～103	154
磨網入硝子	〃	4～6	506
〃	〃	7～17	418
乳白色(ペラ硝子)	A級品	17～103	350
〃	B級品	17～103	250
色硝子(赤青紫)	標準品	2尺×3尺 1枚付	250
安全硝子(合セ硝子)	2枚合セ6耗	〃	500
〃(強化硝子)	厚6耗	〃	500
結晶硝子(17～103)	厚2耗	平方尺当り	65
ステインドグラス	簡易ナモノ	〃	1,500
エッチング加工	加工費	〃	300— 1,000
腐蝕加工	〃	〃	100— 200
摺り加工	〃	〃	2—4

⑬ 事務用家具(課長程度迄)

品名	並品	普通品	JIS規格	備考
2尺×3尺平机	2,200	2,500	4,000	
3.5×2.4平机	2,700	3,200	5,000	
同上回転椅子 (緩止回転)		2,300	2,500	綿モケット張り
3.5×2.4片袖机	4,500	5,500	9,000	
同上回転椅子		3,200	3,600	背張り、綿モケット張り(税共)
4.8×2.4両袖机 1本立	8,500	11,000	14,000	(税共)
同上肘付背張り 回転椅子		6,000	7,000	綿モケット張り (税共)

(価格表終)

関西建材会々員を募る

設立以来本会は着々其基礎を固めつつ時代の要求に
 ぜんと各般の企画を進めている。建設に関連される各業
 者多数の入会を待望している。申込其他詳細は建築協会
 事務局に御連絡下さい。

関西建材会幹事

関西建材会規約(事務所日本建築協会内)

第1条 本会は会員相互の親睦を図り建設資材の生産販
 売の増進に協謀し関係部門との連繫、併せて日本建築
 協会と密接不離の相互協力により健全な発達を期し以

て斯界並に社会に貢献するを目的とする。

第2条 本会は関西建材会と称する

第3条 本会の事務所は当分日本建築協会内に置く

第4条 本会は第1条の目的達成のため次の事項を行う

1. 建材の一般認識普及並びに建材陳列場の開設
2. 事業上の問題解決に協力善処
3. 総合、技術その他の部門との連絡協議
4. 協会誌に建材並びに会員の紹介企画
5. 協会を通じ必要により諸建議その他対外事項
6. 建材名簿並びにカタログその他印刷物の刊行
7. 建材業者の登録制企画
8. 見学、講演、講習会、並に例会大会等随時開催
9. その他本会の目的達成に必要な事項

第5条 本会の事業年度は4月1日に始り翌年3月末日
 に終る

第6条 本会正会員は建設資材に関する業務を営む者と
 する

但し特別のものは幹事会の議を経て賛助会員とする事
 が出来る

第7条 会員の入退会は幹事会で詮議決定する

賛助会員については幹事会で別に規定する

第8条 本会に左の役員を置く

会 長 1 名 幹 事 長 1 名
 副幹事長 2 名 幹 事 若干名
 委 員 若干名

第9条 会長は幹事会で推薦し総会の承認を得る

幹事長、副幹事長、幹事は総会で、委員は幹事会で選
 任する

第10条 会長は会務を総理し本会を代表し総会、幹事会
 委員会の議長となる

幹事長、副幹事長は会長を補佐し会長事故あるときは
 その職務を代理する

幹事は会務を執行し委員は重要会務を審議する

第11条 本会は必要により幹事会の推薦で顧問若干名を
 置くことが出来る

顧問は本会の重要事項の諮問に応へ尚各会に意見を提
 出する

第12条 役員の任期は1ケ年とする。但し重任すること
 が出来る

第13条 会合はすべて必要により適宜開催する

第14条 本会員は次に定める会費を前納又は年3回以内
 に分納する 1ケ年 金 3,600円也

第15条 本規約の改廃は総会で定め、事務に必要な事項
 は幹事会で定める

第16条 本会は必要に応じ事務局を設け有給職員を置く
 ことが出来る

但し当分の内建築協会事務局に事務を委嘱する

大和ビルディング

給水・給湯・消火・衛生設備概要



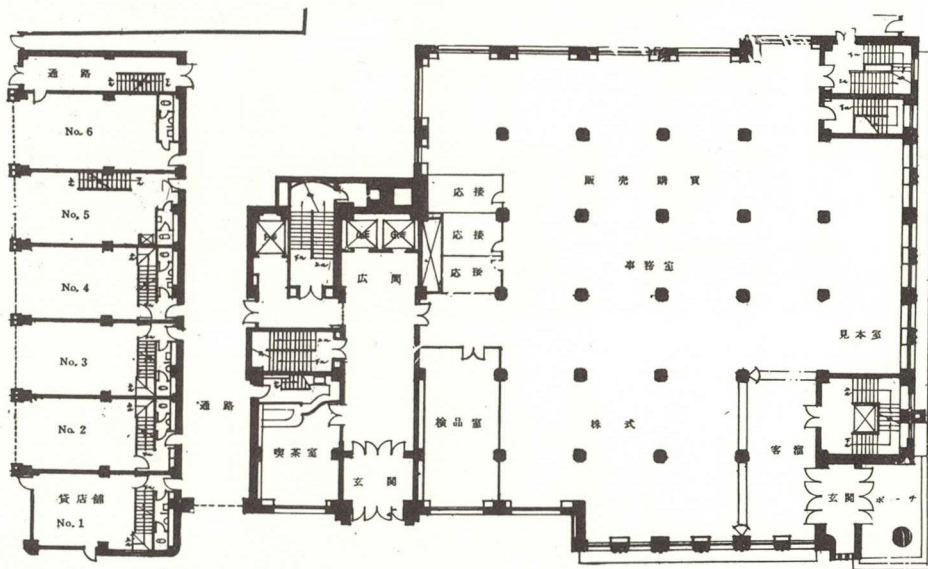
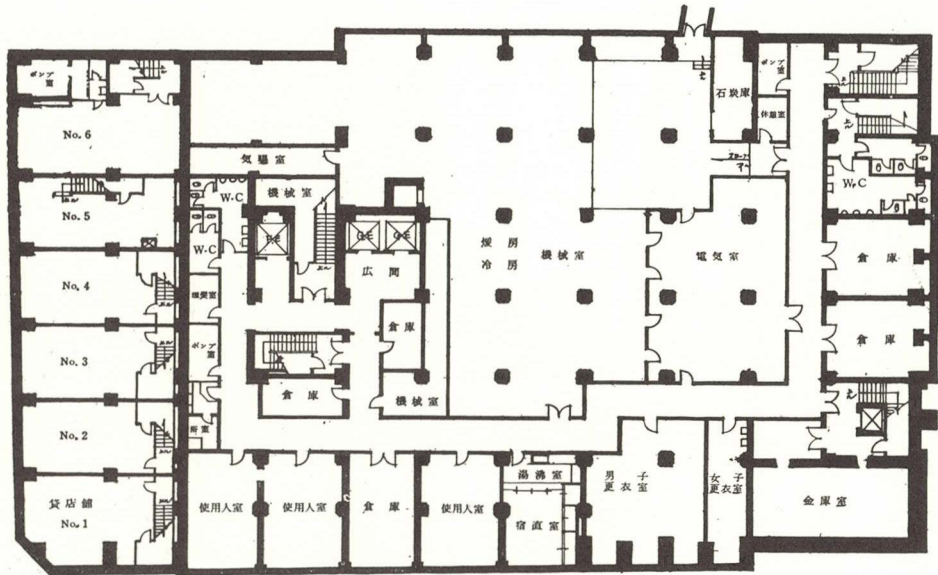
新 築 概 要

着	工	昭 和 26 年 2 月
竣	工	昭 和 27 年 5 月
位	置	大阪市東区南久太郎町4丁目25番地
敷 地 面 積		906.69坪
建 築 面 積		613.51坪
建 築 総 面 積		4555.52坪
階 数		地下1階 地上8階
軒 高		30.15米
構 造		鉄骨鉄筋コンクリート造
設 計 監 理		株式会社 安井建築設計事務所
主 体 工 事 施 工		株式会社 大 林 組

衛 生 設 備 施 工

須 賀 工 業 株 式 会 社

地階平面図



一階平面図

大和ビルディング

衛生設備概要

1) 消火設備

地階機械室に消火ポンプ、クツションタンク、空気圧縮機を設備し40ヶ所の消火栓に接続し非常の際は消火栓の開放により自動的に消火ポンプが起動します。
 尚停電時には自家発電装置よりの送電により消火ポンプを運転する様になってゐます。
 建物外壁にサイヤミーズコネクションを設け又各階に消防隊専用消火栓を設備し消防隊のポンプにより非常送水を受けます。

2) 上水給水設備

飲料用栓、洗面器、浴室等の衛生器具約150箇所には上水(市水道水)を供給します。
 給水管は御堂筋側の市配水管より分岐し地階受水槽に受け之より上水揚水ポンプにて屋上水槽に揚水し重力により上記各器具に給水します。

3) 井水給水設備

地階2ヶ所の鑿井よりボアホールポンプにて汲み上げ急速濾過設備により処理した後一つは冷房装置へ送り一つは屋上井水貯槽に揚水し、之より各階の大便秘器小便器、撒水栓等約120箇所に給水します。
 尚ほ夏期冷房時にはコンデンサーよりの井水は放流することなく地階の井水受水槽に導き之より更に前記屋上井水貯槽に揚水できるようになってゐます。

4) 給湯設備

地階汽罐室に給湯用ストレージヒーター2基を設け
蒸気加熱管により加熱された温水を洗面器その他約
130箇所に供給し循環ポンプにより常時温湯を給湯
します。

5) 排水並通気設備

一般排水と雨水排水の二系統に分れ1階以上の排水
は総て市設下水本管に接続直接放流します。
本館地階にはフラッシュクリーンポンプを別館地階
にはナクロツクポンプを夫々設備し地階の汚水並
びに一般排水を前記ポンプにより自動的に市設下水
本管に排出します。

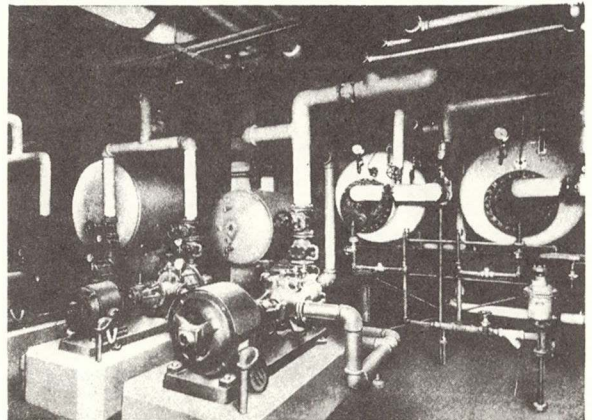
6) 衛生器具類

陶器は東洋陶器株式会社製品を用い附属器具は須賀
工業株式会社特製品及東陶製品を設備しています。
衛生器具の数量は大略下記の通りです。

洋風大便器	U ~ 38	16 組
和風大便器	U ~ 1	52 組
大小便兼用	U ~ 63A	2 組
ストール	U ~ 30	40 組
壁付小便器	U ~ 23	7 組
洗面器	L ~ 340	2 組
〃	L ~ 2	2 組
〃	L ~ 1	61 組
手洗器	L ~ 92	1 組
〃	L ~ 126	32 組
〃	L ~ 8	2 組
スロップシンク	SK ~ 22	13 組
台所流	SK ~ 18	6 組

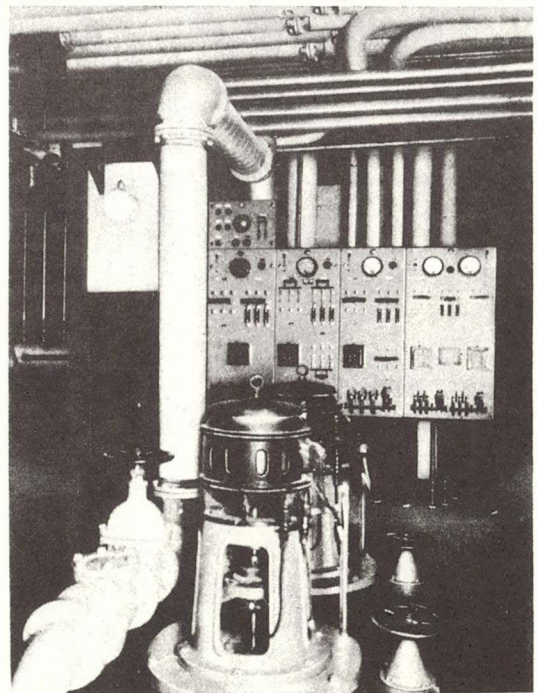
7) 本設備に使用せる主なる機器類

急速濾過機	処理水一昼夜	25,000石	3基
気曝装置	特殊ノーブル	100個	1組
ボアホールポンプ	12,500石/日 ×6"×50米×40HP	2台	
濾過ポンプ	3,200立/分×7"×9米×15HP	2台	
逆洗	〃 2,500立/分×6"×15米×15HP	2台	
消火	〃 900立/分×4"×60米×30HP	1台	
市水揚水ポンプ	600立/分×3"×45米×15HP	2台	
井水揚水ポンプ	600立/分×3"×45米×15HP	2台	
温水循環ポンプ	2"×7米×1IP	2台	
複式フラッシュ クリーンポンプ	28立/秒×5"×9米×7½HP	2台	
堅型汚物ポンプ	5,7立/秒×2½"×9米×2IP	2台	
排水ポンプ	2立/秒×1½"×7米×½IP	1台	
空気圧縮機	210立×最大10圧/平方糎×2HP	1基	
ストレージ ヒータータンク	丸型 径 900耗×長3000耗	2基	
市水受水槽	角型 1,5米×3,0米×2,0米	1基	
井水受水槽	丸型 径 1,5米×長3米	1基	
上水屋上水槽	角型 2,7米×2,7米×1,5米	1基	
井水屋上水槽	角型 2,7米×2,7米×1,5米	1基	
クッションタンク	丸型 径 1,0米×長3米	1基	



地階機械室の一部

地階機械室の一部



二階北側男子便所

●第三三集 第六号 掲載広告一覧（掲載順）

ダイハツ工業
宇部スレート工業
安田レール
ヤハズラス
協和製作所
大阪機工
久保商店
青盛建材
堀田組
安松組
山石商会
協和工務店
大宝組
橋本組
大建組
ライト工業
泰平電機製作所
広洋商会
須藤工務所
長沼電業社
広陽土木建築
村竹電業

山田組
後藤機械商工
出雲理想瓦工業所
意東瓦組合
広島商事
長崎塗装店
広島鋼材
関西工材
広島板金
星和鉄工
松垣新兵衛商店
常盤化学工業所
賀豊土建
筒井測器
安井工務所
大和精工
田惣兵衛商店
大阪裝飾工業
栗山板硝子店
三電氣工業
妹尾モータース
内外商事

竹内工務店
日興土建
浅野組
小谷建設
大阪城口研究所
大阪電氣商会
桐田商会
齊久工業
三機工業
須賀工業
西原衛生工業所
建材社
栄興商会
三晃商会
マンテン
新高砂商会
崎山工業所
浅海電氣産業
近畿電氣工事
田村商会
大阪コンベス建材社
大島応用化学工業
三高製作所
樫野石灰工業

長岡鉄筋コンクリート
米谷セメント化工
福屋工業所
和田避雷針製作所
衣川鉄工所
大阪耐酸工業所
東京鋼板工業
室谷商店
東邦商会
水島商店
佐村木商店
前沢商行
吉田芳雄商店
大仏組
明正社
大阪防水建設社
大同鑄造
三幸商会
鈴木シヤタア商会
三舟窯業
田島応用化工
開成鋼材
岩元工業
新光レイヨン

大阪建材工業

井上工材

藤森工業

山本建材社

杉田組協栄

中西材木店

北尾商店

坂本商会

日本セメント防水剤製造所

大阪錠組

正起工業

日本板硝子

油脂化工社

大建工業

内外土木建材社

日新工業

田島応用化工